

聖徒の道

5

VOL. 11 No. 5





——— 聖 徒 の 道 ——— 11 卷 5 号 ———

＜予言者のことば＞ここに秘訣がある……………	デビッド・O・マッケイ…………	1
＜特集＞ヒュー・B・ブラウン副管長来日……………	ゴールドン・B・シンクレイ使徒……………	3
横浜支部献堂の祈……………		14
札幌支部献堂式举行……………		15
「できないことはない」はよく知られた彼の言葉……………		20
名ゴルファー ビリーキャスパーB・Y・U賞を受ける……………		22
証……………	当馬陸男…………	24
系図のページ……………		26
札幌支部献堂の祈り……………		30
日曜学校ガイド……………		31
扶助協会レッスン……………		35

△予言者のことば▽

ここに秘訣がある

デビッド・O・マツケイ大管長



めに十字架につけられたのを知るために与えられたと申しております。けれども主はさらに、忠実にして止まなければ救いを得られるように、他人の言の証を信ずるようにそれが与えられた他の人も居ると申しております(教義と聖約四六・一三一―一四)

けれどもこの証はすべてこれらの義務を遂行する時にこれらすべての人にもたらされるのであります。彼らは福音は彼らに、よりよい人となることを教え、その原則に従うことは、彼らをして強い男性として真実な女性とするものであることを知っているのであります。毎日彼らに、そのような知識がもたらされ彼らはそれに矛盾することができず、イエス・キリストの福音に従うことは彼らをして、よりよい真の夫、真の誉れある妻、従順な子供、あらゆる点に於て理想的な家庭の建設者たらしめることを知るのであります。

彼らは福音に従うことは人々の間に、真の兄弟愛と友情をはぐくむことを知っております。彼らは律法と儀式に従うことによつて、よりよい市民となることを知っております。彼らが日常の行為を通じてまた彼らの職場に宗教を適用する時福音の真理は彼らの生活の中に生きて模範となるのであります。

福音の証は混乱と闘争に在つて魂の錨であります。神の實在とキリストの教会の神性の証を持つことは光榮でありま

今日多くの人々が末日聖徒イエス・キリスト教会の成長・安定・及び決定的躍進の秘訣はどこにあるのであろうかと不思議がっております。その秘訣は教会の忠実な会員の一人一人が持っている福音は正しい原則から成り立っているという証の中に横たわっております。これは原始教会のベテロその他の者に与えられた

ものと同じ証であります。

この証はイエス・キリストの福音に従い儀式を守り聖霊を受ける資格を持つて、彼を導く聖霊を受けるすべての人に現われるのであります。

主は教義と聖約に記録された啓示の中で、それはある者には、イエス・キリストは神の子にして而も世の人の罪のた

す。その知識はあなたにもたらされることのできる最大なる財産であります。けれども、その証は大いなる責任を伴います。すなわちそれに生き抜く能力、それに調和して行動することであり、人が、なすべき善を知りながら行わなければ、それは彼にとって罪である。

(ヤコブの手紙四・一七)

教会におけるまた実生活における、あなたの将来の行爲は、あなたの証の立脚する土台によって大きく決定されるのであります。眞の証は常に生きて成長するものでなければなりません。

証は理性の力によってもたらされるかも知れませんが、けれども実際には理性は只人間にとって星や月が案内役であるように靈魂の案内役なのであります。信仰の光は地を照らす太陽のようであり、信仰は主イエス・キリストの神性の証が不動に据えられてある人の中にある確信であります。私はすべての若い人たちおよび教会の新会員たちに証が一時にもたらされなくとも失望しないようにと申し上げます。それはペテロにも一時にもたらされたものではありません。一つの場合を見てごらん下さい。

五千人に食べさせて後、救主は荒れ狂う海を渡ってカペナウムに行かれました。五千人の中の或者たち、その翌日主にあうために北岸沿いに歩いてカペナウムに至りました。そこで主は群衆に向って巧なメッセージを与えたのであります。

す。

あなたがたがわたしを尋ねてきているのは、しるし(神の榮光)を見たためではなく、パンを食べて満腹したからである。(ヨハネによる福音書六・二二)彼らは奇蹟を見たけれども、もつと深い重要なあるものを見落したのであります。

そこでイエスは注目すべき生命のパンの説教をしたのですが彼らはその象徴を理解することができず去り始めたのです。主に従った人々は主を置いて後向いて行ってしまったのです。只十二人だけが残り、主は彼らに言われました。

あなたがたも去ろうとするのか。(ヨハネによる福音書六・六七)

衝動的な指導者で實際的、健全な代弁者ペテロは主に向って言いました。

主よ、わたしたちは、だれのところに行きましょう。永遠の命の言をもっているのはあなたです。

わたしたちは、あなたが生ける神の子キリストであることを信じまた知っています。(ヨハネによる福音書六・六八―六九)

これを読む時私はいつも、信ずる、と知る、の言葉を思いめぐらします。これがペテロの口調であったからです。

イエスはカペナウムから弟子たちを連れて、さらに教えるために山の近くに行きました。そしてその週、そこにいる時に主は尋ねられました。

人々は人の子をだれだと言っているか

? (マタイによる福音書一六・一三)

彼らは答えて言いました。

ある人々はバプテスマのヨハネだと言っています。しかし、ほかの人たちは、エリヤだと言ひ、またエレミヤだと言ひまたエレミヤあるいは予言者のひとりだと言っている者もあります。(マタイによる福音書一六・一四)

そこで主は言われました。

それでは、あなたがたはわたしをだれと言ひか?

そこでペテロはためらわずに答えました。

あなたこそ、生ける神の子キリストです。(マタイによる福音書一六・一六)

バルヨナ・シモン、あなたはさいわいである。あなたにこのことをあらわしたのは、血肉ではなく、天にいますわたしの父である。

そこで、わたしもあなたに言う。あなたはペテロである。(ペテロはこの証、または啓示を神から受けた)そして、わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう。黄泉の力もそれに打ち勝つことはない。(マタイによる福音書一六・一七―一八)

各人への靈感または啓示は、その上に証の建てられるべき岩であります。そして生きとし生ける者で只彼が律法に従ひ聖い生活さえすれば、その証をうけられない者は居ないのです。聖霊がその証を獨に与えるからであります。

熱心に求める、皆さん一人一人も同じであります。

来日 ヒュー・B・ブラウン副管長 ゴールドン・B・ヒンクレイ使徒

ヒュー・B・ブラウン副管長とゴールドン・B・ヒンクレイ十二使徒は4月16日に来日されて以来、沖縄、福岡、大阪、横浜、札幌の各地を廻られ、この間三つの支部の献堂式と延一万人以上にわたる会員たちと接しられた。



羽田飛行場に着れたご一行



ヒュー・B・ブラウン副管長

(四月二十日阿倍野支部特別大会から)

コーラスの皆さん方が今お歌いくださいました二つのコーラスを本当に感謝致しております。ありがとうございます。私は、ヒンクレー長老と一緒に、皆さん方が私たちを出迎えてくださいましたことを感謝いたします。本当に私たちを良くおもてなしくださいました。私は決してこれを忘れないと思います。皆さん方は本当に美しく歌ってくださいました。

皆さん方の顔かたちを拝見しまして、私は本当に満足しております。皆さん方に、今晚私はデビッド・O・マッケイ大管長の祝福をたずさえてやってみようとした。聖徒たちに私の愛と感謝、祝福を与えてくれるようにデビッド・O・マッケイ大管長は私に申されました。私はある意味において特殊な教会を代表して今日この席上にまいりました。この教会は新しい教会ではありません。それは、回復された古い教会でございます。アメリカの教会でも、英国の教会でも、ドイツの教会でもありません。世界中にまたがっているイエス・キリストの教会でございます。そして、日ならずして、この教会は全世界を満たすにちがいありません。

私はこの教会が創立されましたことについて、しばらくの間、話してみたいと思います。私はこれから話そうとしていることは、恐らく皆さん方が過去にお聞になったことでございます。反復することによって皆さん方の心にさらに印象深くなるように申し上げてみたいと思います。

一八二〇年にニューヨークに一人の若者がおりました。十四才でございます。世界でどの教会が正しいかといふかしく思っております。聖書の中に、ジョセフ・スミスは「智慧のかくるものあらばとがむことなく、おしむことなく、総の人に求む神に求むべし」と云う聖句を読みました。彼は自分が読んだことを信じました。お父さんの農場の森に入ってみようとした。そこでひざまずき、神様に自分は智慧の欠くるものであることを訴えました。ただちに悪の力がおそいかかりました。彼を悪魔は破壊しようと試みました。主なる神様に叫び求めて助けを求めたのでございます。父なる神様は彼の声を聞きました。天より偉大な光明が下ってまいりました。その光の中にお二方が立っていらつしました。そ

の光は太陽の光よりまして輝きわたっておりました。その若者はその光景を見て驚き恐れしました。そのお一方が彼を名前でお呼びになってお話しになりました。

「こわ我が愛子なり彼に聞け」とその方は申されました。救い主は、新しい教会がつくられると云うことをこの若者に告げられました。救い主は、自分の名前を有する教会がつくられるということを示されました。新しい教会とは申されませんでした。後ほど天界よりさらに多くの使いが使わされました。モルモン経がどこに隠されてあるか告げました。そして教会を組織すべきことを告げました。その後、彼はバプテスマのヨハネから神権を受け、続いてペテロ、ヤコブ、ヨハネからも神権を受けました。彼がその家族に偉大な示現について物語ったときにある人たちはそれを信じました。しかしある人たちはそれを信じませんでした。お母さんもお父さんも彼のいうことを信じました。しかし隣人たちは彼をあざけり笑い、これは悪よりやって来たものであるというふうに申しました。そして彼を迫害し彼を憎みました。彼は金堀を目当にしたいつわりものであると隣人たち

は申しました。しかし、彼は自分の証詞に忠実でございました。私は光を見、私は声を聞いたと証詞しました。私が知っていることと云うことを神が知りたもうと彼は断言しました。そしてそれを私は否定することはできないと。

そのような関係で彼は町から町へと追われました。ミズリーの川の辺りにあるイリノイ州に最終的にやってみようとした。そこに大きな町を建立いたしました。その当時としては本当に大きなものでございました。彼等はその町をノーヴーと呼びました。川の辺りにあった町でございます。美しい町と呼ばれたのでございます。イリノイ州でもっとも大きい町でございます。しかし、敵は再びそこでもって今まで以上に大きな迫害を加えました。しかも、最後に彼は獄に引き渡して彼の命をたちました。ハイラム兄弟と共に彼の命はたれたのでございます。また暴徒は再び聖徒たちを迫害し続けました。自分たちの家をつくったノーヴーから彼等を追い出してしまいました。この五月十三日にこのノーヴーをおとする予定になっております。今、私たちはそこで多くの土地を購入しまし



た。これからそこで色々と多くの家を建てる予定であります。当時の人々は私たちの先祖を強制的に追い出したのでございます。氷のもとへ西の方へ人々を追いつ出してしまったのであります。多くの人たちはソルトレークまで自分の足を使わかって歩きました。そして山の頂に私たちの住居をかまえたのでございます。ソルトレークに来るのに多くの犠牲を払いました。私のおじいさん、おばあさん両家共この仲間この群に入っております。彼らのノーヴーからの出発はさながらイスラエル人がエジプトから出発したのになぞらえることができるのでございます。そして多くの人たちはヨーロッパから荒野を横切つてユタへやって来たの

でございます。そしてユタ州に住居をかまえて落着いてのち、さらに派遣されて多くの所で小さい村や町を作りました。彼等は西に、あるいは南にメキシコへ、あるいはニューメキシコへ、あるいはアリゾナへと足をはこんだのでございます。アイダホ、あるいはカナダのモンタナの方へまいりました。そして各所に教会の支部をたてたのでございます。後ほどある宣教師たちは英国に渡りました。また、その他のヨーロッパの諸国にまいりました。ある宣教師たちは南方諸島の島々にやってまいりました。ある人たちはハワイへゆき、サモワへゆき、フィジーへゆき、トンガへ渡りました。ニュージーランドへまたオーストラリアへと宣教師た

ちは行ったのでございます。

それから主なる神様はこの日本の地に支部を作ること欲しました。福音のべ伝える土地として、この地に十二使徒の一人がおいでになって始められたのでございます。しばらくの間、この伝道部は閉鎖するのをやむなきにいたしました。初期の信者たちの何人かは今もなお確実に信仰を保っております。この偉大な地に今や多くの支部が建てられております。世界中で教会は早く大きくなっております。世界中で今や二百五十万以上の信者がおります。私は世界中のほとんどの国を旅してまいりました。私は多くの国の言葉で私たちが今従事している業はほかならず神の御業であるという証詞を聞いてまいりました。世界で起っていることについて本当に私は驚嘆の目を見はっております。今までの、二回の世界大戦の間に、教会は静かに向上いたしておたのでございます。悪魔の力に対して進歩して来たのでございます。正しい原則を教えながら教育を人々が受けるように心をきれいに保つように教えてまいりました。彼らの将来に偉大なことが起るということを告げてまいりました。

私はこれまでに話したことのないことを今晩ここで皆さん方に申し上げたいと思います。今晩私の話しに耳を斜けていらっしゃる皆さん方の中の何人かは生きて、日本人の男の方が教会の十二使

徒評議會の一員になる日をその目で見るにちがいありません。それがいつくるかは存じません。私はその方が選ばれたときまで命を生きながらえることができないと思います。しかし、ここにいらっしやる若い人たちはそれを見るでしょう。それをこらんになればはっきりと神様が日本人を愛していらっしやることを知るにちがいありません。そして世界中の各国の人たちが強大な組織を作られるにちがいありません。日本人のみなさん方のある人たちは、教会の指導者になるにちがいありません。私は今晩、自分の心の中にそれをひしひしと感ずるのでございます。私はこの予言を主の御名によっていたしたいと思ひます。

私たちが教えている教えを私たちがどうしてこのように教えるかいぶかく思う人もおります。特筆すべきことは、私たちが教えていることは救い主がこの地上におられたもうたとき教えたもうたことでございます。この事業は、全世界に満ち満ちるまで続けられるのでございます。今晩私はこれを皆さん方に証詞としてさしあげたいと思ひます。そして皆さん方は、それを見とどけるにちがいありません。私たちは悪魔の力を止めることができるにちがいありません。キリスト御自身おいでになり、自からその陣頭に立つて指揮をとられるにちがいありません。忠実なる人たちは天のただ中にとり上げられて雲の間に主とまみえることが

できるのでございます。私が本当にそのときまで生きながらえることができたかと願っております。しかし、私の仕事はほとんど終りかけております。私はまもなく自分の身を横たえて天父なる神様ののもとにまいらなくてはなりません。そして、次の世から私は日本人のみなさんが何をしているかを見たいと思います。

私はデビッド・O・マッケイ大管長あるいはグラント大管長と共に、この地にもたらされる成功を大喜びするにちがいありません。イエス・キリストが親しく治めたもう全世界の教会に属するということは素晴らしいことでございます。イエス・キリストの福音の原則を教えることは素晴らしいことでございます。私たちの教えることは真実であると云うことを、知ることは素晴らしいことでございます。むくいを受けることなくして、私たちはこの福音を説き教えるのでございます。

救い主は「汝等は自由に受けられたれば自由に与うべし」とおっしゃいました。やがて将来にときが来るにちがいありません。ここにいらっしやる多くの若い人たちは外国伝道に出られるときがやがてくると申します。世界の国の人たちに救いのことずてを持ってそれぞれの国々にゆくにちがいありません。ですから、主なる神様のこの小さい庭がやがて花で満たされその果実がなるにちがいありません。この地より多くの人たちが多くの民の中に出て行って、神の言葉を

伝えるにちがいありません。イエス・キリストの真の教会に属するということはなんと素晴らしいことではないでしょうか。しかし、サタンは皆さん方をまどわし、皆さん方が教会から離れるようにしむけます。真理に忠実であるためには勇気がいられます。力がいられます。戦うその力が必要でございます。皆さん方は確固として立つ力強い人たちでなければなりません。私はたれも恐れる者はございません。敵といわゆる人々はままございですが、イエス・キリストの指導の下に働くことによって皆さん方は、そのようなものはないのでございます。

私は神様が福音の種をこの日本の地にまかれたことを感謝いたします。勇気のある人たちがこれまで忍耐強くこれ、今から花を咲かせようとしているを見て本当に感謝にたえません。福音とはなんでしょうか。ペテロ、ヤコブ、ヨハネ、パウロがかつてのべ伝えた福音と同じ福音でございます。それぞれの罪を悔い改めたのちに、バプテスマを受けなければならぬその福音でございます。聖霊がその後にもたらされる福音でございます。人々の家庭に愛とよろこびをもたらし福音でございます。今までになかった、もつとも偉大な神権時代が今おとずれておるのでございます。アブラハムよりマラキの時代までにいたるまでに多くの神権時代がございました。キリスト様がこの世においてになったときの絶頂の

ときにも神権時代がございました。その当時生を受けていた人たちの多くは、福音が再び回復される末日に生を受けたいと願ったのでございます。そしてその当時の人たちは再びこの地上に福音をもたられるそのときを見とどけたのでございます。しかし、そのときに偽予言者、偽キリストが現れるがゆえにだまされないように予言者は警告を発しました。いかなる方法によってもだれも我等をだますことのないように警告してくれました。まず最初に背教が起ってからその末日が来ると予言者は申しました。そしてある人たちはそのときに健全な教えに耳をかたくして耐えることができないと申しました。真理よりも嘘、いつわりを愛する時代がくると予言しました。このような背教の時代があつてから福音の回復があると予言しました。福音の回復はまさにそのような背教が起つてからもたらされると予言があつたわけでございます。今晚この点について話をする時間はございませんが、しかし、背教はたしかに福音の回復に先がけて起つたのでございます。福音の回復は今だにいせんとして続けられていくことを、これからまだまだ多くの偉大な真理が回復されるのでございます。他の記録がさらに出て来るのでございます。救い主は他の国に他の羊がいるということを申されしました。皆さん方の何人かの方々はそのような記録の出現をまのあたりにされるにち



がいありません。私はこよい予言の御霊を感じております。将来に目を見ることができます。この末日聖徒イエス・キリスト教会に関連して起る偉大にして驚嘆すべき業を、皆さん方はごらんになるにちがいありません。皆さん方は世界各國の人たちが集まってモルモンの人たちをその指導者とあおぐようになるのときを見るにちがいありません。世界中から皆さん方を求めるその召しに皆さん方が応ぜられるように、若い人たちはそのときのために今や準備をしなければなりません。私たちは神の御子が来たりたもうように、この地上をその準備のために用意するのでございます。天使長のたいなる声

とラッパのひびきと共に主なるキリストは来たりたものでございます。そのときに二つの大きな都市が設立されるのであります。一つはアメリカ大陸に建てられ、今一つは、エルサレムに建てられるのでございます。私は数年前にエルサレムに行つてイエス様がお歩きになったところを歩いてみました。イエス様の体が横たえられました墓の側に立つてみました。彼が来たりたもう丘、山を私は見渡しました。キリスト様が十字架にかけられたもうた山を私は見ました。律法はジョンより出、神の言葉はエルサレムより出ると主なる神様は申しています。キリストは個人的に来たりたまいこの世を治めたまいです。そのときに人々は互いに憎しみあうことはなくなるでしょう。もはや戦もなく飢饉もなく疫病もなくなるでしょう。しかし、それに先立つて浄化されるべきことが起ります。私の兄弟姉妹たちよ、私たちの前途にあることを考へるとなんと素晴らしいこととてございましょう。私たちの犠牲がいかなるものであつても、それは充分に払うに値いあるものであると思ひます。

私は家族のことについて、私の家族のいく人かはカナダのパイオニアとして開拓者として住んでいたことについて話して見たいと思ひます。そして、そのとき私の母は私が偉大な多くのできごとを見るであらうと言つてくれました。そして私は今日非常に多くの大切な事柄をこの

目で見てまいりました。私は六二年前に英国で伝道いたしておりました。その当時人々は私たちを迫害して町から町へと追い出しました。ずっと後に私は再び英国へやつてまいりました。そのとき私はカナダの軍人としてやつてまいりました。そのときに私は回復された福音について語ることができました。私が軍服を来ていたので人々はそのメッセージを聞いてくれました。神様は驚嘆すべき奇しきみわざをいたしました。その偉大な国にあって今や神様は静かに驚嘆すべき業をなさっています。皆さん方自身、皆さん方の国に対して、皆さん方の宗教に真実であつていただきたいと思ひます。

私は一九〇六年に英国で家庭訪問をしておりました。私はすでに訪問している一つの家にやつてまいりました。その家の主婦はあまり私を好きではありませんでした。そして、私について非常に悪いことをいいました。しかし私は三回目にその家をおとずれました。二回目に私がこの家を訪問したときに「私は一人しか娘がないからあなたはその娘をもらうことができないよ」とこう申しました。その奥さんは長い鼻を持つておりました。また、そのほほは非常に長いものでございました。それでその奥さんに「私には一人しか娘がないけれども」と言つたときに、お母さんと同じような顔をしているなら私は嫁にもらいたくないと申しました。しかし、私が三回目にまいりました。



たときに、彼女は戸を開けてはくれませんでした。私は彼女を窓越しに見ました。彼女はぬいものをしておりましたので、私はドアを強くたたきました。しかし、彼女は出て来ませんでした。私は裏へまわりましてステッキを持っておりましたのでそれでガンガンたたきました。そうしますと、彼女は出てまいりました。彼女はついに出てまいったのであります。彼女は非常に怒りまして十五分間も怒り続けていました。しかし、途中でちよつと一呼吸しなければなりません。一呼吸したときに、私は話し始めました。「私の愛する姉妹、今日私は神様からの言葉を持ってまいりました。西カナダから神様は私を貴女にお遣いくださったんです」とこう申しました。神様はあなたを愛していらっしゃいますので、この言葉を伝えるように私を遣わされたのですとこう申しました。そうしますと、彼女がいうには神様は私に言葉を伝えて下さるようにはあなたをよこされたのですか？「神様は私にあなたに言葉を伝えるように私を遣わくださったのですから、あなたはこれをお聞にならなければなりません」とこう申しました。いやこの言葉とはなんでしょうかと彼女はいました。私の伝えるメッセージとは、福音は再び回復され、イエスはキリストであり、それを聞いていた彼女は、「私はそれを信ずることができない」と申しました。しかし私は、「今やあなたに回

復された福音を伝えました。ですからもうカナダへ帰ります」とそう申しました。しかし、「再び私たちが逢うときにあなたはきっと私に感謝されるにちがいない。私があなたの家に訪問したことは、どうぞ私たちがふたたび逢うんだということと憶えていて下さい」そう申しました。このできごとが起つたのは一九〇六年のことでした。一九一六年に私はカナダの兵隊として英国にまいりました。ノレッジの古い私の伝道したところへやつてまいりました。きれいな顔をなさった一人の奥様が三人の女の方をつれてこの通路を通つて私の方へやつて来るのが見えました。彼女は私の手をとつて私の手に接吻をして涙ぐみました。そして「私は神様に貴男が私の家に来て下さったことを感謝しています。イエス・キリストの福音を貴男がもたらして下さったことを私は神様に感謝いたしております」といいました。あなたが立去つてから私は教会本部を探し当てついに教会に入りました。私と私の娘たちはこんどユタの方へ引越しますと云うふうに話しました。他の人たちに福音を教えることによるこびがあることを存じております。世界中でそのようなこびは他にはありません。多くのお金をつくることによるこびがあるということも存じております。他の人たちを会に導くことにくらべればその喜びはものの数ではございません。皆さん方はそれと同じ素晴

らしい喜びを得ることができるのでございます。皆さん方の隣人にまた友だちにまた皆さん方がお合いになる方に福音が今や地上にあることをおしやつてください。

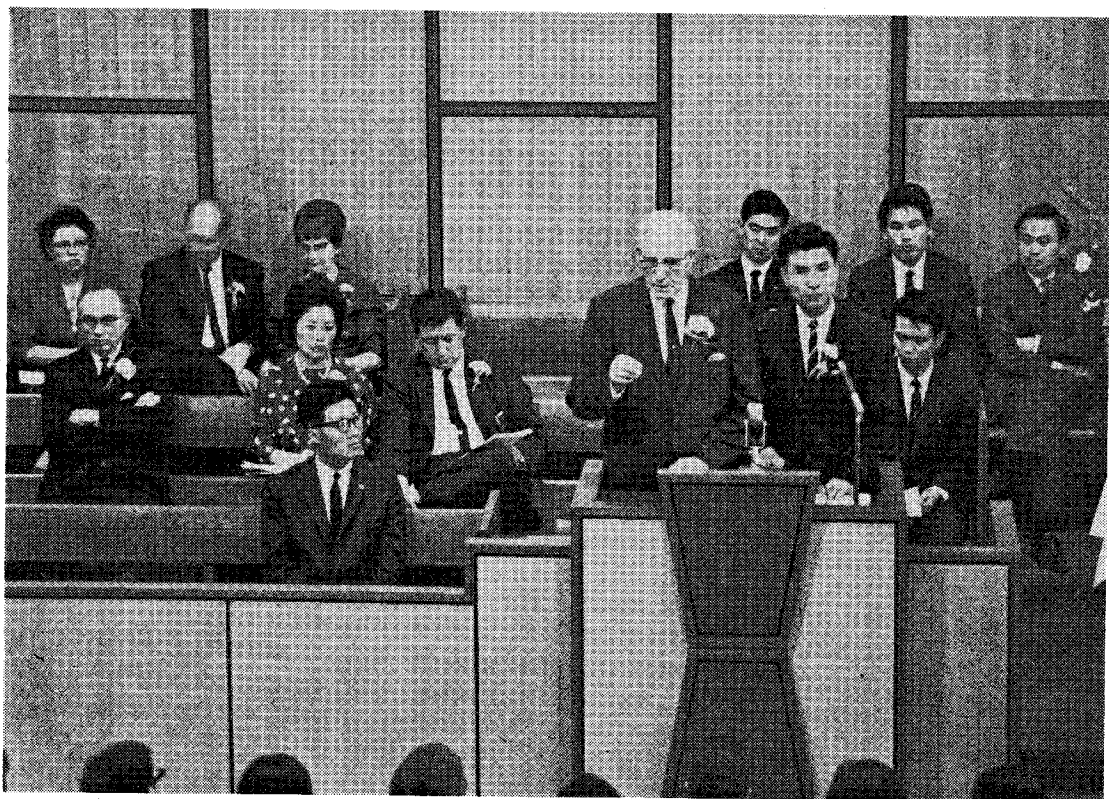
これから申し上げることがもつとも大切なことでございます。皆さん方はまず福音に生きることでございます。そうすることによつて他の人たちに皆さん方の生活を見ることができるようでございます。もし皆さん方が福音に生きられるならば、皆さん方は教会において偉大な方になられると云うことを再び約束致します。この国にやがてヒンクレー長老がおしやつたようにステーク部、ワード部ができるにちがいありません。皆さん方の子孫は皆さん方が最後まで福音に忠実であつたことを喜びの声を上げて歓喜に満ち胸をおどりさせるにちがいありません。私は生きていることを良く存じているように、私たちの有していますこの福音がイエス・キリストの福音であることを証詞いたします。この福音は予言者ジョセフ・スミスを通して回復されたものでございます。ブリガムヤングおよびその同僚によつて受けつがれた福音でございます。あらゆる多くの国々に受け継がれた福音でございます。そして、今、行渡つていない国々にもやがて行渡るのでございます。

最近私たちはイタリアにまいりました。まもなくインドにもまいる予定でございます。

ございます。スペインにもまいります。私たちは南米に教会を築いております。そして日ならずしていつの日かロシア人にも私たちはこの福音を教えるときがやってくるのでございます。そして皆さん方のある人たちはロシアへ伝道に行くように召されるにちがいありません。畑は早や白ろくして、その刈入を待つがゆゑでございます。イスラエルの長老たちの声にその耳をかたむけるように言葉が全世界に伝わっております。

キリスト様はその弟子たちに全世界をめぐりてこの福音を述べ伝えよとおしやいました。この教会の初期にあつてふたたびキリスト様はその同じ宣言と福音を全世界にのべつたえていたのでございます。私たちの持つてゐるものをときどき犠牲にしなくてはならないときもございます。私たちの先祖のように自分の持物を犠牲にしなければならぬときがございます。しかし、神の王国の会員であるということはそれ以上のことでございます。私たちの属するこの教会こそ神の国でございます。神の目的をはたさんためこの地上に築かれたものでございます。

私は聖なる神の御名に依つてそのことを申し上げたいと思ひます。私がこよい皆さん方に申したことを憶えていたいただきたいと思ひます。すこし皆さん方の心の中にうたがいがあるなら、もしそのような方がおいででございますしたら、今晚お家へ帰りになつて神様にそれをおたず



ねになって下さい。神様はそれをお示めしになるにちがいありません。そして、勇気と力をもって十分に耐えられるように、お祈りになって下さい。私はこれ以上、話しない方が良いと思います。

ヒンクレー長老はこい皆さん方に私が年寄であると云うことをお話しになるのを忘れられました。しかし、私は年をとればとるほどその年に応じて、ますます深く私が教えているこの福音こそイエス・キリストの真実の福音であると云う気持ちを深くいだくのでございます。私はそのことが真実であることを良く存じております。神の御言葉がこの地上にもたらされたということを証詞いたします。私の心の底から手足のすみずみまで、私が今いっているこの言葉が真実の福音であるということをいふことが出来ます。

皆さん方一人一人に神様が、私のこの証詞と同じ証詞をお与え下さいますようにそしてそう生きる勇気も与えようように皆さん方に祝福を残したいと思ひます。生ける神のしもべとして皆さん方を今祝福致します。

お父さまでありお母さんである皆さん方に神様が祝福を与えたまっているごちの良い家庭を作られるように祝福いたします。若い皆さん方に皆さん方が父母をうやまつてやすらかな家庭をお持ちになれるように祝福いたします。多くの方々が神殿に行くことと云うことを祝福致します。そしてそれらの方々が先祖の方々の

ために仕事をなさり皆さん方の働きによつて皆さん方が次の世に行かれたときに先祖の人たちは皆さん方がして下さった働きを知って大喜びなさるにちがいありません。そのような教義を教えるこの教会は唯一の教会でございます。死人に対する救いの福音、それを教える唯一の教会でございます。すでにこの世を去った人たちのためにたれかがみがわりの儀式をする必要がございます。皆さん方が神殿においてになるときにまず自分自身のエンダウメントを受け、それからみがわりの儀式をすることが出来るのでございます。皆さん方の前にもすべて次の世に行かれた方のために自分のくさを次から次へと継げていただきたいと思ひます。

そのようになさるなら皆さん方はやがて主となり、あるいは皆さん方の子孫にとつて自分の子孫にとつて姉妹方は女王になり、そして皆さん方は共に神様の身元にあつて子孫を統められるにちがいありません。神様が皆さん方を祝福なさいますように、皆さん方の心の中にやすらぎがもたらされますように、皆さん方の心の中にまた家庭に愛がもたらされるように、偉大な出来ことが起ると云うことこの日本人の間にと云うことを覚えて下さいませ。その祝福がやがて来るべきのために今から用意をなさって下さい。そのような祝福が皆さん方にもたらされるように。イエス・キリストの御名に依つて。アーメン

ゴールドン・B・ヒンクレイ十二使徒

(四月二十日阿倍野支部特別大会から)



皆様今晚は、今宵、私の心は一杯でございます。コーラスの方々が美しい讃美歌を歌って下さったときに、私は涙をこらえるのが精一杯でございました。……皆さん方に深く深く感謝いたしております。皆さん方が空港で標示して下さいました歓迎を心から感謝致しております。そして美しい花束を私共に下さったことにも感謝の意を表したいと思えます。また鈴木地方部長が私たち良くもてなして下さい、車でわざわざお送り下さいましたことも感謝いたします。今日ここに私共にはいづれも集いましたこれらの日本人形はいつも今日の集会を思い出す良い記念になると思えます。今晚私共が持合せています証詞の精神、それは生涯忘れられないものでございます。私は皆さん方の御出席を心より感謝致しております。皆さん方の多くの方々が遠距離よりはるばるおいでになったことを私は良く存じております。今晚この会が終りましてから、夜をついで多くの方々がお帰りになることも存じております。ある方々はバスに八時間も揺られて帰られ、そして明日

はまた仕事にお出でにならなくてはならないようにございます。金沢からお出での方さん方どうぞ手を上げて下さい。どうもありがとうございます。岡山からお出での方さん方、名古屋からお出の方さん方、京都からは、西の宮、三の宮、岡町阿倍野、アメリカから（笑い）皆さん方に本当に感謝致しております。父なる神様が皆さん方を愛していらっしゃるという気持ちが私の心の中にひしひしと感ぜられてなりません。今宵、私は父なる神様が皆さん方をよるこんでいらっしゃるということを感じることが出来ます。そして確に、父なる神様が皆さん方を祝福していらっしゃいます。今日ここに高令の方々が、お見えになっていらっしゃることを、うれしく思っております。私は本当にその方々を愛しております。皆さん方の偉大な信仰を神が祝福したもうように。

皆さん方の多くの方々は長年の間、主に対して、また教会に忠実でありました。神の王国に於いて勤勉に働くことによってもたらされる喜びがいかなるものであるかを皆さん方は良くご存知だと思えます。私はこの場で皆さん方に是非とも知っていただきたいことがございます。それは、私が祈りの中でしばしば皆さん方を思い出し祈っているということです。でございます。私は日がたつにつれて忠実な日本の聖徒たちをますます愛することができるようになりました。また尊敬

することができるよう、感謝することができるようになりました。私はいつまでもこの責任を受けてこの地を訪問するつもりません。教会ではアサイメントが変って他の所で奉仕しなければならぬことがよくございます。私たちの上に立って管理して下さる方によって指図されるように私たちは働くのでございます。遅かれ早かれ私のこのアッサイメントも変えられることでしょう。しかし、私は皆さん方に厳肅に約束したいと思ひます。

「わたしはけっして皆さん方を忘れない」と。皆さん方一人一人のお名前をあるいは憶え続けることができないかも知れません。しかし、皆さん方のお顔はよく記憶したいと念じております。私が日本にはじめてまいりましたときに、日本人の皆様の顔は誰れも彼も同じように見えませんでした。丁度、皆さん方にとってアメリカ人の顔が同じように見えるのとまったく同じでございます。しかし、今や私は皆さん方一人一人をよく見分けることができるようになりました。そして皆さん方を愛することができるようになりました。今日ここにおいでの方々を見まして本当に私の心は感動に満たされております。みえうるわしい乙女の方さん方ならびに美男子でいらっしゃいます男の方々を拜見して本当に感激致しております。そして皆さん方のうちに偉大な将来を見ることが出来ます。

私共は、まだ表面をほんの少しかすただけかもしれません。しかし、私が長年感じてきましたことを今申し上げてみたいと思ひます。この偉大な国にシオンのステーキ部ができるのはそう遠くはないと申し上げたいと思ひます。私の愛する若い兄弟、姉妹たちよ、皆さん方の信仰の度合に應じて、その日が早くもなりまた遅くもなるのでございます。

私は、この美しいバラの花を見まして心が思わずときめきました。しかしこのバラもはじめは一本の枝葉のない小さな苗木でございました。それからつぼみが出て、更に花がこのように咲いたのでございます。それと同じことが日本の教会にもあてはまると思ひます。それは長年の間、枝葉のない小さな苗木であったのでございます。皆さん方もご存知のやうにこの業は、一九〇一年にこの地ではじめられました。二十三年に亘ってなされた努力の後、心が本当に悲しませられるやうな経験の後に、伝道部は一時閉鎖されました。その二十三年の間に一六三人の方々が教会に加入なさいました。この時代に働かれた宣教師の記録を見まして、私の心は悲しみにうちひしがれました。彼らもおそらくそのやうであつたと思ひます。しかし今や暗い冬は去り、春がやってきたのでございます。そして枝葉が出てきたのでございます。小さいつぼみがふくらみはじめてまいりました。そしてそれを見ることは本当に美しい

光景でございます。皆さん方、今日ここにお集りの皆さん方のうちに私はそのつぼみを見ることが出来るのでございます。そしてそのつぼみが花咲くそのときを今予言することが出来ます。

その偉大な日がやがてもたらされるやうに主なる神様が皆さん方を祝福なさいますやうに。これから年輩の方々にはしばらくの間お許し願ひたいと思ひます。と申しますのは、これからしばらく、若い方々に向けてお話しをしてみたいと考えているからでございます。今日この合唱団の中で独唱して下さいました美しい姉妹の方、またそれと合同して歌って下さいました若い方々に感謝の意を表したいと思ひます。皆さん方は約束の子らであります。主なる神様が皆さん方の心に靈感を与えたもうたのは主なる神様の目的を果さんがためでございます。花が開くやうに、それにふさわしい生活を営んでいただきたいと思ひます。皆さん方は、教会を必要としております。また教会は皆さん方を必要としております。神の王国の市民として生活できるように日々を送って下さい。皆さん方の生活を本当に意義あるものとしてください。主なる神様は私共に勤勉に学ぶやうに、そしてあらゆることに卓越するやうに訓誡なさいました。将来のためにあらゆる有用なことを身につけて下さい。

皆さん方の経済的な必要を十分に満たしうるやうに今その準備をなさって下さ

い。自分がうけられる教育を総て受けられるように今、準備をなさって下さい。研究分野についてはあえて何も申しませんが、世の人々の前に立つて卓越した人物として立ちうるように備えをしていただきたいと思ひます。同僚たちの前に立つて同僚たちにはっきりと物の言える秀れた人物を主なる神様は必要としていらっしゃると思います。皆さん方の才能は充分に認められそれによって人々の前に立つことができるのでございます。そのようにすることによって皆さん方は人々に対して説得する力を持つことができるのでございます。人々の心と手を教育訓練する教会に皆さん方は属していられしやるのでございます。末日聖徒イエス・キリスト教会を更に価値あるものたらしめる責任が皆さん方の双肩にかかっているのでございます。

第二番目に私が申し上げたいことは、信仰を持って教会に奉仕することでございます。決して教会は皆さん方の力以上のことをするように頼むようなことはいたさないのでございます。そしてもし皆さん方が主なる神様にその必要な助けを求められればそれは与えられるのでございます。皆さん方がそのようになさることによって、皆さん方の力と能力とは増し加わるのであります。

渡辺兄弟を当惑させたくありませんが、この横に立っている渡辺兄弟の中に福音の果実を見ることができません。彼は

伝道にまいりました。それはなまやさしいことではありませんでした。しかしその体験によって偉大な信仰と力が生れてきたのでございます。私は皆さん方若い方々がその心の中にニーファイがその兄弟に向って言った言葉を憶えていただきたいと思ひます。

「私は行つて主の命じたもうことを行なう。主が命じたもうことには、人がそれを為しとげるために前以つてある方法が備えてあり、それでなくては、主は何の命令も人に下したきわなないことを承知しているからである」

教会は人々を教育するため、訓練するために存在しております。人々がこの世にあって、さらにきたるべき将来にあって、すなわち次の世にあってても良い生活が出来るように訓練するためにこの教会は存在しているのでございます。私共は奉仕することによって、進歩するのであります。

三番目に皆さん方に申し上げたいことは、純潔な清い生活を送つていただきたいということでございます。純潔、清さのあること以上に力強いことはございません。救い主は幸いなるかな心の清きものは、その人は神を見ん、とおっしゃいました。近代の啓示において神様は絶えず徳を持って汝の思いを飾るべし、とおっしゃいました。邪惡のうちに真実のよろこび、幸福はございません。清い生活によつてのみ真実のよろこびはもたらさ

れます。私は主なる神様のしもべとしてはっきりと、皆さん方に申し上げたいと思ひます。「皆さん方が清い生活を送ることによつて祝福されると。やさしいことではないかもしれませんが、一人ぼっちでなければならぬことがあるかもしれません。しかしその果実はじつに甘く素晴らしい偉大なものでございます。

最後に私は皆さん方に申し上げたいと思ひます。教会内で結婚なさるようになつて、ある人々にとつてそれは問題になるかもしれないかもしれません。しかし教会の将来は若い若者が、若い兄弟がきれいな教会の姉妹たちと結ばれることによってたらされるのでございます。犠牲を払つて神殿に行こうとしていらつしやる皆さん方に心からの祝意を表したいと思ひます。このように努力なさつていらつしやる方々はやがて日ならずしてその結果を見ることができにちがいありません。皆さん方がそのように努力し生活なさるならば、やがてつばみは花を開くにちがいありません。

この点に関して神様が祝福を皆様に与えたもうように、私の愛する青年たちよ、皆さん方の生活が本当にすばらしいものであり、また生産的なものであるよう、神が祝福を与えたもうように、そして、皆さん方の生活になんのうれいも、後顧もなく、安らかにい生活ができるよう神が祝福したもうように、このバラのように主なる神様が皆さん方の働きを

早めたまい、花が早く咲くように、私たちが今従事しているこの聖なるみ業が真実神様の業であることを皆様方に証詞致します。我々の永遠の父なる神が真に生きたまい、皆さん方を愛していらつしやいます。イエス・キリストは神の御子であり、皆さん方のためにその命を与えたまいました。天父な神様とイエス・キリストは予言者ジョセフ・スミスに親しく現れたまい、私が今晚皆さん方に話しているように話しかけたまいました。真実の福音が今この地上にございます。皆さん方はその福音にあずかる方々でございます。主なる神様が皆様方を今も永遠に渡たつて祝福なさいますように、主の甘い御霊が皆さん方と共にあるように、そして、主の平安が皆さん方の心の中にあるように、よろこびが生活にみぎさるよう、神の愛が皆さん方の家庭にあるように、以上をみんなイエス・キリストのみ名によつて申し上げます。

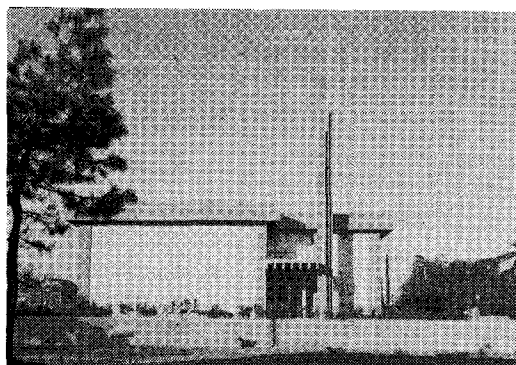
アトメン

おお、われらの永遠の父なる神よ。

今日、我らの心は喜びに満たされ、御前にひれ伏しへりくだりて、御父を呼び奉りて、汝の驚嘆すべき祝福を感じ奉り、汝に関する知識と証詞を感じ奉る。我らの父なる神よ、我らは汝を愛し奉り、汝が我らに賜いし大いなる賜なるイエス・キリストを感じ奉る。世の贖い主として、汝が支え給いし主の贈り物を感じ奉る。

預言者ジョセフ・スミスを通し、福音が回復されしことを感謝し奉る。汝がジョセフ・スミスに現わし給いしその示現を感じ奉る。聖なる神権がこの地上に回復されしことを感謝し奉る。喜びの音信を世の津々浦々に宣べるべく出て行きし宣教師を感謝し奉る。我らは、宣教師の心痛を僅かながらも感じ、その証詞を受け入る人々の証詞充分なるを感じ奉る。宣教師の証詞を受け入る人々多きことを感謝し奉る。

グラント大管長とその同僚がこの地



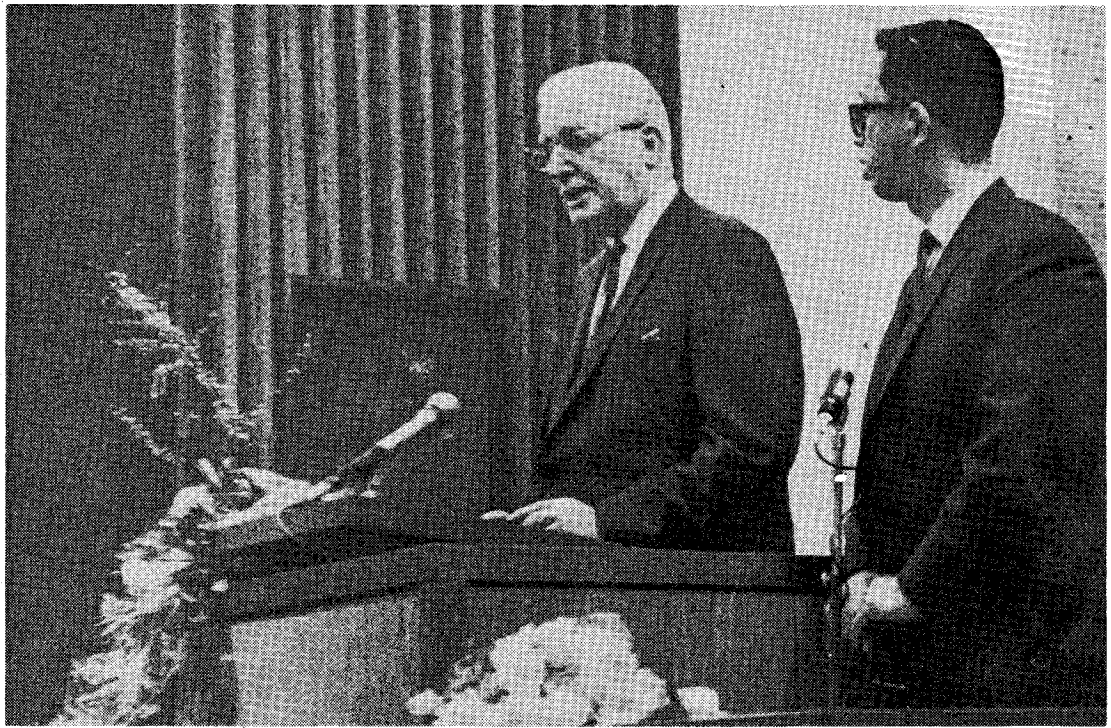
に赴任されしことを感謝し奉る。わずかな人々なれど、彼らより真理を受け入れし人々を感じ奉る。当時の人々の一人が今日ここに我らと共に列席できしことを感謝し奉る。御父よ、彼を祝福し給え、彼の勤勉さを祝福し給え。また宣教師が再びこの地に帰りて、何千何万の人

々をして福音を受け入れしめたことを感謝し奉る。

汝の聖なる御名の故に、この契き建物を造らせし人々を感じ奉る。この建物がかくのごとくありし如く、その時間と財産と才能と力をこの建物に注ぎ入れし人々を感じ奉る。さて御父よ、今日ここにかくの如く寄り集った人々に聖なる神権の権能により、聖なる使徒職の権能により、末日聖徒イエス・キリスト教会北部極東伝道部横浜支部のこの礼拝堂を汝に捧げ奉る。土地をはじめとして、その基礎すり全てのものを汝に捧げ奉る。御父よ、我らの贈り物として、この贈り物を受け入れ給え。たえず汝の祝福をしてこの屋に在らしめ給え。またこの官居を破壊しようとする人々から、平穩にこの官居を守り給え。汝の真理を学ぶ人々に歓迎の場とならしめ給え。たえずこの場に寄り集る人々の数が増し、寄り集る人々が生命のパンをこの場でいただくよう。また永遠の福音を学び、この壇場の汝より御言葉を宣べ伝えられる場とな

らしめ給え。汝を讃美すべき歌がこの宮居より汝のもとに届かんことを、人生の抑圧より離れて憩を得る場とならしめ給え。世より離れし聖所となり、若き男女が増々真理に結びつくように。若者が、この地の人々のために、或いは外国へ伝道に宣教師として行くことができる場とならしめ給え。

カルチャアル・ホールが互いの交際を深める場となり、聖徒らが楽しい一時を過すべき所として導き給え。汝の真理が教えられる処として教室を祝福したまえ。我等は今また宣教師館をも汝に捧げ奉る。このちこの処が宣教師にとつてやすらぎの地となり、この聖なる建物とこの地とこの土地にかかわる全ての建物を汝に捧げ奉ると同時に、我々も自分自身の身を再び汝に捧げ奉る。イエス・キリストの御名を通して祈り奉る。アーメン



説教中のブラウン副管長

札幌支部献堂式挙行

春が浅い、というより冬の残滓がしつこくまとわりついているような沿道の景色が、ぐんぐん後方へ飛んで行く。冷たい風が鋭角にバスにぶつかって、時折、ヒューという唸声さえあげる。

四月二十四日、一台の大型貸切バスと一台のマイクロバスが、飛行場へ向う会員や宣教師を乗せて、千歳の弾丸道路を走っていた。とにかく寒かった。ちなみに、新聞の気象の欄を見ると、

20日 南寄りの風、曇りのち一時小雨

気温 マイナス〇・四

21日 西の風強く、曇り一時雨

気温 六・五

22日 北寄りの風、曇り、しだいに晴れ間が多くなる。気温六・八

23日 北西の風、曇一時小雨のち晴れ間が多くなる。気温は低めで日中の気温は八度ぐらい。気温三・三

24日 北西の風、曇り一時晴れ。気温は引

き続き低い方。気温一・九

(気温は午前九時までの最低気温)という状態であった。歓迎の幕が風にはたはたと気ぜわしく揺らいた。送迎場になっている空港ビルの屋上には、寒さにちちかんで突立っているモルモンの姿が見られた。

しかし、急に温風が吹き始めた。△そんなに寒いかい△と言って送迎場上がったいなかった連中が、△なんだ、ちっとも寒くないじゃないの△と言うのである。気候状態が変わったのである。そして……。

ジェット旅客機の翼が鈍色(にびいろ)の光に照らされて白銀の巨体を北海道の地にしっかりと横たえた。

“Welcome President Brown & Elder Hinkley”と筆太に書かれた幕が、旅客機に向かってその存在を誇示する。目にとまるだろうかどうかだろうかと。

降りて来た。ついに降りて来た。待ちに待った人だ。心から待ちのぞんでいた人だ。

副管長 ヒュー・B・ブラウン

使徒 ゴードン・B・ヒンクレイ

白髪をいただいている巨軀が、機内から現われた。そしてヒンクレイ長老も。タラップで……そうそこで、気付いた。歓迎の幕に目をとめられ、大きく手を振られる。宣教師と会員達の大きな群れにとよめきが起る。

二人の神の御使いを乗せて帰る車中は歓迎の讃美の歌でいっぱいになった。また暖かかった。それは心の中まで暖くなるような暖かさだった。

午後五時からの会は、献堂式になるか特別集会になるか直前まで会員達にはわからなかった。ソルトレックの建築本部から「献堂式許可」の通知が届いていないからである。しかし、献堂式と決定した。早くから来札した旭川、室蘭、小樽の会員達は、ずっと札幌支部で待っていたが、それを聞いて大喜びである。そして、それ以上に札幌支部の会員が喜んだのも無理はない。

献堂式は柳沢地方部長の司令で定刻に始められた。遠くはるばる来日された二人の神の御使いに献堂式に先立って、会員達からの心からの感謝の贈物を進呈し、そのひとつは、マッケイ大管長に贈られた。われわれの贈物それはほんとうにささやかなものであるが、大管長の許に届けられるということは、なんとうれしいことだろう。

「感謝す予言者」が、開会の讃美歌として高らかに響き渡った。藤田秀光兄弟の開会の

祈りとともに、みたまが清く、濃く会堂に満ち溢れた。

鯨島支部長が、これまでの建築の経過と今後の心構えについて強い証とともに述べ、札幌市民のためにこの教会堂が強力な神の福音を伝えるものであるようにしようと呼びかけた。

続いて小松姉妹からお話があった。ブラウン副大管長とヒンクレイ十二使徒が、沖繩を訪問されたとき、それまで日でり続きだった彼の地に突然シャワーのような降雨があったという。また姉妹は、ここが神の家であるという気持ちを持ち、それを子供達に教えようと言話された。

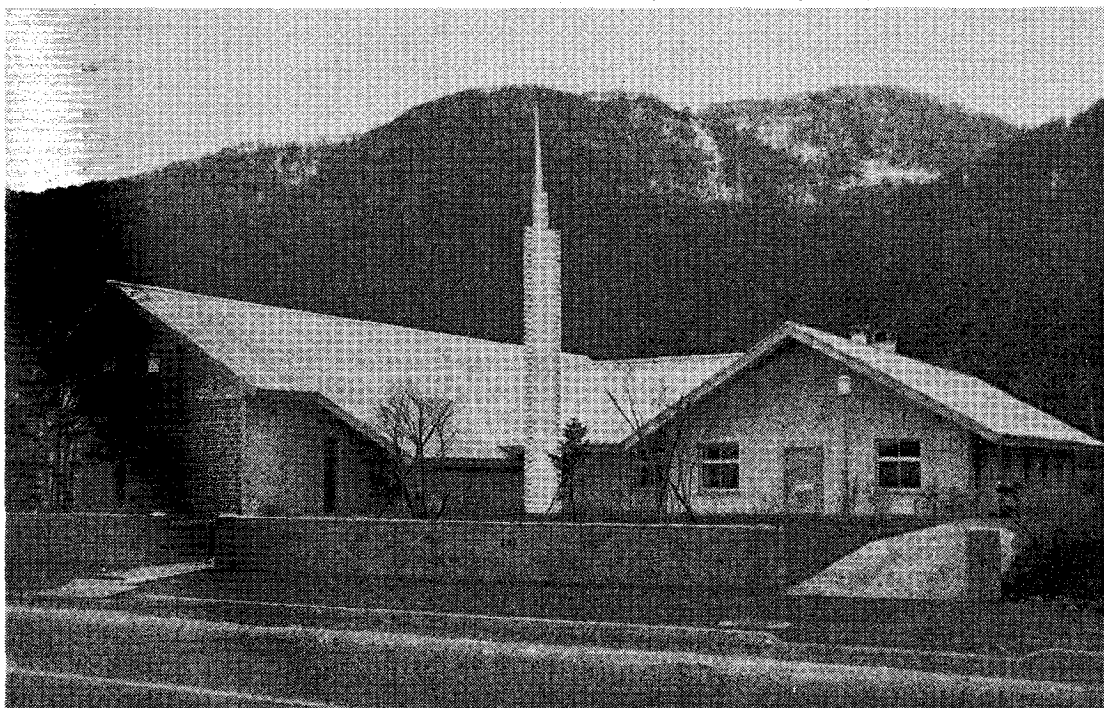
扶助協会の姉妹達によるコーラス。壇上に坐っておられるブラウン副管長は、それが終わったとき、思わず「ビューティフル」と呟かれた。

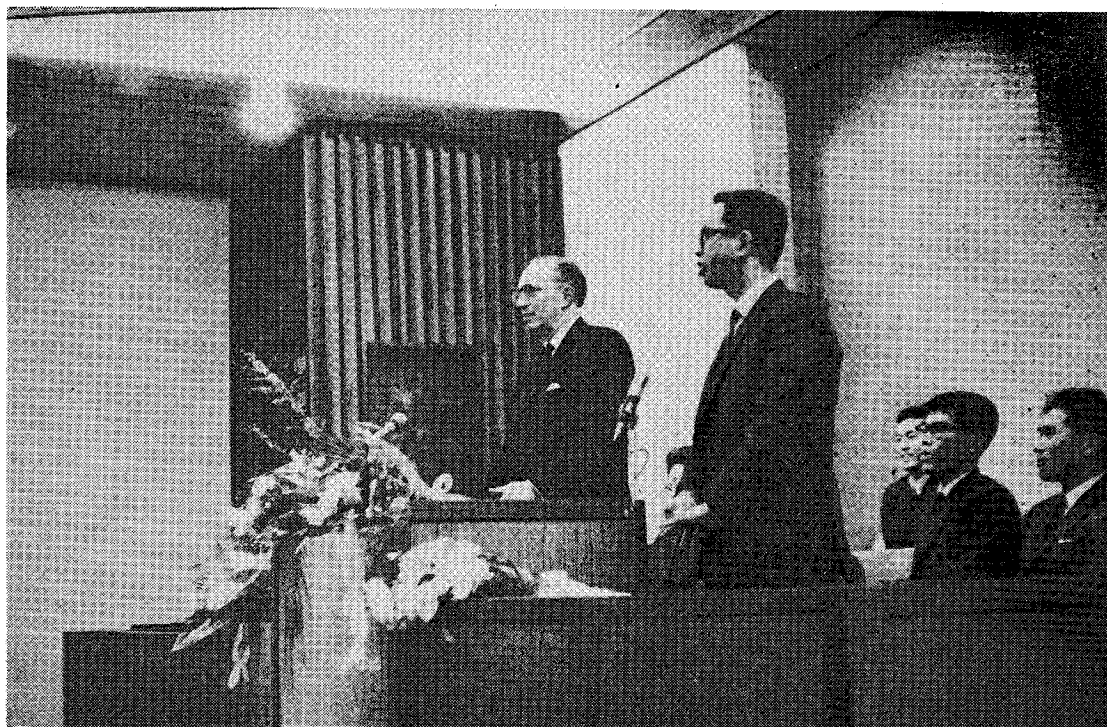
続いて小松伝道部長から、大管長会の一人と十二使徒の一人が来日されたことについて心から感謝され、二人が真に神様の使徒であり予言者であることを力強く証された。そしてこの会堂は潔い神の宮居であるから汚れた気持ちを捨てて、会員一人一人がこのようなきれいな美しい心をもって、モルモンとして立派な生活をしようと述べられた。

札幌支部のコーラスが、長い着席の疲れをいやすに充分であった。ヒンクレイ使徒は、ブラウン副管長に語られた。静かに。しかも力強く。

「これが、札幌支部の原動力なのです」と。

献堂なった札幌支部（北海タイムス提供）





話をされるヒンクレイ十二使徒

熊谷たまの姉妹を紹介しよう。彼女は七十四才であり、教会生活は五十八年間になる。今でも若く活発で、大久保彦左衛門的価値がある。彼女の一生は、決して平坦ではなかった。女学校のころ、オールドミッション時代の宣教師より福音を受け、そのために校長室で説教されたこともある。弱くなったこともあった。結婚の話がまとまっても、相手の父が教会に行くことを干渉するので、まとまった縁談を自らの意志で破棄したこともある。北海道大学の新進の教授であった。また戦前の女性には珍らしく、自分の職業を自らの可能性を確かめるという近代的な考えで、学校の先生から新聞記者という職に身を投じた。

その当時の会員も、彼女の前から一人去り二人去りで信仰を捨てていった。太平洋戦争の暗雲が日本をおおい、日米が戦うという彼女にとってはやりきれぬ時局が彼女を苦しめた。しかし、彼女は信じた。信仰は、静かに静かなだけに着実にそして熱く、彼女の心の中に持続された。きつとこの真の神の福音がこの地に述べ伝えられる。きつとこの教会は大きく発展する。そう思いながら祈ることをやめなかった。

ポール・C・アンドラスという若い人、しかしその勢悍な風貌を持った宣教師が、新しい伝道部の開設とともに札幌の地にやってきた。国土も国民の精神も荒廃した日本に、ましてや北限の地、北海道に誰一人として自分を迎えるものはいないかと思っていた。しかし緑色のペンキが塗られた札幌駅頭に、涙を流して待っていた初老の女性がいた。アンド

ラス長老の期待は、奇妙な表現だが、見事裏切られた。彼女は、しばらくして電話ボックスに飛び込み、新聞社に電話した。

「札幌に偉大な人が来しました。これから札幌に偉大なことが起ります」

その声は感激と興奮で震えがちであった。新聞社は、よろこんで二人の若い宣教師の記事を翌日の新聞にのせた。大きく。

これは、札幌支部の戦後の再発足のスタートであった。そしてこの若い宣教師が、後に伝道部長として六年間働かれたアンドラス伝道部長だったのである。

献堂の祈りの前に、このような信仰篤い姉妹の話をする程ふさわしいことはないのではなからうか。ヒンクリイ長老は、力をこめて今日こうして主より受けた祝福の数々が、実に熊谷姉妹のように信仰を強くもってあらゆる患難に堪えぬいた昔からの会員と、今日ここに集っている熱心に建築の仕事を果たした会員に豊かにある事実を話されたのである。ヒンクレイ長老は、熊谷姉妹に讃辞の言葉を呈し、神様の祝福があるように語られた。われわれ北海道の会員達は、このような模範があるからこそ強いのである。ヒンクリイ長老はひとことひとこと、神の言葉を語られる。われわれの心は、みたまに感じてふるえ、臉は熱く曇ってしまった。

熊谷姉妹を最前列に招き、証の機会を与えたのはヒンクリイ長老とブラウン副管長であった。熊谷姉妹は、激しく、熱をこめて彼女



千歳飛行場での歓迎

の歴史——苦難が栄光へと変遷するという時間の推移——を語ったのである。歴史の重みとは、このような人の語る真実を言うのではなからうか。「私は、ヒンクリイ長老から讃辞をいただいたが、私にはそんな価値はありません。しかし、私のような小さな、つまらないものにさえ、神は、このような素晴らしい教会発展の機会を見せてくださり、たくさんの祝福を下さいました」

熊谷姉妹のこの短い言葉の中には、確かにこの教会の歴史の証言がある。

ブラウン副管長は威風あたりを払う人である。がっしりした首もどが、がっしりとした四肢の上にあり、肩巾のたくましさは、老令と言えども主に対して戦いを挑むすべての勢力を打ち砕く力を表わしている。そして白髪の下顔は、文字通り温顔であり、柔和である。その発する声は、若くて光がある。

彼の話すことばによって、キリストの心が理解できる。なぜ主キリストが、ジョセフ・スミスを通して、主御自身の教会を回復されたか。神様と人間の真の関係はどんなであるのか。主はわれわれに何を期待しておられるのか。ブラウン副管長は主の御旨を伝えて下さっている。

「この教会こそ真の教会であります。これはアメリカの教会ではありません。イギリスのでもドイツのでもフランスの教会でもありません。これは全世界のすべての人類のための教会であります」

とのべられたとき、この尊いブラウン副管

長の説教の前に（指揮者に従って進み行かん）と声高らかに歌った神権者達の胸に、一様に、福音伝道の担い手という自覚と熱い情熱が湧き起こったのであった。この地は、確かに祝福されているし祝福されたのだ、こうして献堂の祈り（別記）とともに。献堂の祈りは副管長によってなされたのだった。

A兄弟は、二年前に鋤入れ式があつて、そのとき始めてグサツと鋤を入れたあのときの土の感触を思い出していた。

B姉妹は、そしてC姉妹は、いや札幌支部の殆んど姉妹達は、幼い子供を二人か三人背にくくりつけ、手にぶら下げて、一食も休まずに食事の準備をするために、厳しい冬の最中を、猛吹雪の中を、歯を食いしばって通つたことを思い出していた。

F兄弟は、いやG兄弟も、みんな、肩いらい込む角材の痛かったこと、ブロックの積みめども積みめどもいつ果てるとも知れない老犬多数の冷酷なまでの感触を思い出していた。多くの姉妹達もそうだ。休日を返上し、暇な時間は教会にきてペンキを塗って、化粧の上にさらに又上塗りをやっておかしな顔になったことを思い出していた。

苦痛、苦難、困苦、苦心、苦行、苦勞、苦役、苦哀、苦惱、苦渴、苦患、苦寒、苦悲、苦悶、苦戦……。

しかし、主はこの御堂を嘉納してくださった。喜んでくださった。これほど、うれしいことはないではないか。これほどやり甲斐のある仕事はなかったではないか。この建築のためにアメリカからこられたチェデスター監



督夫妻、ラーセン監督夫妻、多くのあの陽気で信仰の篤い若い建築宣教師達の顔、顔、顔そして顔。

記者は、献堂式を終えて車で去られるブラウン副管長とヒンクレイ長老を送る。また逢う日まで、の讃美歌の中で、このような人々の、主の仕事を心からやるという責任感の強い人々の顔を思い浮べていた。

「よかった。本当によかった」

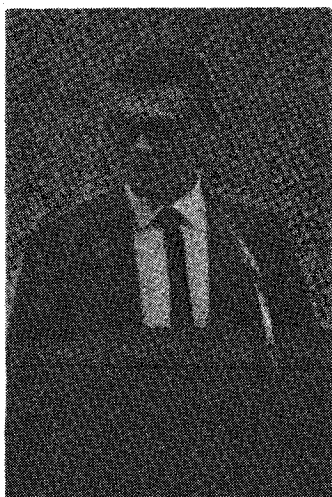
この献堂式に集った人々は、口々にこう言っ
てよろこび合った。しかし、本当の「よかった」は、これからではなからうか。「よかった」と自らで言うことはやさしい。しかし、「よかった」を言わせなければならない人、言わせたい人々が、この北海道の地にまだ沢山いる。ブラウン副管長とヒンクレイ長老の乗った車の赤いテイルランプが、夜のとりの中に消えて行くのを眼で追いながら、「よかった」は明日言おり、こう会員達は心に思ったのではないだろうか。献堂式の意義はそう考えた瞬間から過去のものではなく、未来のものとなった。それを強く感じさせてくれた献堂式であった。

「できないことはない」は

よく知られた彼の言葉

《ラルセン監督のご家族》

エスザー・S・ラルセン姉妹



ラルセン監督



ラルセン姉妹

一九六四年私たちはソルト・レーク市に在る教会建築事務室から電話で召しを受け、その後数年間の任務を与えられました。その召しは私たちの望んでいたものではありませんでしたがまだ私たちにはその資格がないと感じられたものでした。私たちはアメリカ合衆国及び外国に於ける全教会の建築を担当している兄弟たちに面接しました。

「あなたは建築宣教師として日本に行きますか？」この意外な質問でしたが

「はい」と何のちゅうちょすることなく答えました。

エヴァン・A・ラルセンと私は彼が広島に新しい地方部長として赴任して来たときに逢いました。その後一ヶ月して私は広島に転任になりました。私はこれ以上頑固な頭の固い人を見たことはありませんでした。「できないことはない」はよく知られた彼の言葉で今でも多くの人に覚えられております。ラルセン長老

は、一九五八年早々解任になってユタに帰り、カリフォルニアの州兵として訓練を受けました。私は一九五八年の中頃にハワイに帰りその秋、ユタの学校で教えました。そしてそこで再びラルセン兄弟と知り合うようになったのでした。彼は未だに頑固でした。正しいことを為すことに頑固でした。私たちは一九五九年の十二月二十四日に結婚しました。ラルセン兄弟はその前に訓練を終えて、建築に従事するようになりました。彼は多くの監督の下で、あらゆる種類の仕事を為し、ワード部教会堂及びステーキ部センタ―を建てる最初の経験を積んだのでした。彼はまた、シカゴ技術学校通信教育で建築を学びました。一九六一年の秋早くラルセン兄弟は、ベルリン危機の際に予備役召集を受けてテキサスに入隊しました。ローリーが六週間過ぎになったときに私たちは飛行機でテキサスへ行つてラルセン兄弟と一緒にすることができま

愛嬢のローリーとアンネット



した。一九六二年の夏に私たちはユタの私たちの家に帰り、そこでラルセン兄弟は再び仕事に就きました。私は暫らくの間学校で教えました。

一九六四年の八月に私たちは東京に着きました。それまで、種痘、パスポート査証、荷造りなどのあわただしい消耗し切った二ヶ月半が悪夢のように続きしました。東京は溶鉱炉のようでした。熱気、湿気、人また人の波、どこへ行っても群集、悪夢のようでした。ほこりっぽく、

また修築のため到着に足場が組んでありました。水は不足していました。私たちはもうどのようであったか忘れてしまいましたけれどもその後三年間、私たちはそのような環境に馴れてしまいました。私たちは阿部野の滞在を楽しみ、そこで親しんだ立派な会員たちを決して忘れないでしょう。横浜で私たちは驚歎すべき信仰の会員たちに逢いました。恐るべき人々です。私たちは札幌で旧友たちに逢いました。ラルセン兄弟は曾てそこで支部長をしたことがありました。そこで私たちは北海道の深い冬を経験しました。そして二ヶ月後に幸にまた暖い横浜に戻りました。私たちはこの伝道地全体を通じて多くの旧友に逢いまた新しい友をつくりました。私たちが暫くアメリカに居た間にこの伝道部は素晴らしく成長したのであります。主は教会堂を建て

れるだけの物資を以て日本人を祝福されたのです。日本は科学に急速の進歩を遂げております。日本は極東に於ける足場となったのです。何となればそこから、韓国、香港、台湾、フィリッピン及びグワムの伝道部が開かれたからであります。まだ多くの働らきが必要であり、もし日本が極東に於ける燈台として留つていようとするならば、会員の一人一人が熱心に伝道を助けるべきであります。

私たちの家族は祝福されて来しました。ラルセン兄弟は健康で、仕事上で何ら大怪我をすることもなく過して来しました。私たちのように点々と住居が移転することとは子供を育てるのにあまりよい環境ではなくローリーはスポイルされたかも知れませんがよく成長しております。今日では彼女は日本語が英語よりも上手で楽しそうに他の外人の子供たちを指して「ガイジンノコドモ」と呼んでおります。只今五才で幼稚園に入るのを待ち望んでおります。アンネットは健康で大阪で生れて一年経ちました。彼女は姉さん及び両親に幸福をもらいました。私たちは今後一年半を期待しており、主が私たち及び私たちが兄弟として愛する建築宣教師の上にまた新しく次の計画を遂行して行く岡町支部の会員たちの上に祝福を与え下さるようにお祈りしております。

ファー キャスパー 賞を受ける



一九六六年度、ゴルフ名人、ビリー・キャスパーは最近ブリガム・ヤング大学に於て、模範男性賞を受けました。

ファスト・スウィング（振り方が速い）ですが平静なこのゴルフ名人（彼は昨年教会の会員になった）はユタ州プロヴォのBYU構内の講堂で賞状を受領しました。受賞式はBYU男子学生会が主催しました。

一九五四年、職業ゴルファーに転向してからキャスパーは、トーナメント資金から五十万弗以上稼ぎました。一九六六年度だけでも彼は、U・S大会や熱狂を以て終了した西部大会、サンチャゴ大会、インシアナポリス大会に優勝して、公式に約十二万二千弗を獲得しました。

彼は職業ゴルファー仲間からゲームに平静に集中できる最高の妙技者として尊敬されております。

彼のゴルフの成功をたどると、サンチャゴ地方クラブでキャデイトとジュニア会員でありました。彼はノートル・ダム大学に一学期通って一九五一年から一九五五年まで海軍に務めました。

ビルと彼の妻のシャレイは同じ高等学校に通いました。そこでキャスパーは、バスケット・ボール、ベ이스・ボール、ゴルフをしました。彼はまだ高校時代にサンチャゴ、アマチュアの栄冠をとりました。キャスパー夫妻は娘さん一人に、三

人の息子さんたちです。彼らの結婚は、一九六七年一月一日、ソルト・レークの神殿で、永遠に結ばれました。キャスパーは教会で長老の職を持っております。

彼はモルモン教会の会員たることを重視し、競技で何処へ行っても常に会員たちに話す時間を見つけようと努めております。彼は彼の職業、生活、家庭を運営して行く新しい内なる力を発見したと言っております。

賞状はキャスパー氏の国民への奉仕、青年に対する愛、家族に対する献身、彼の宗教に持つ信仰、職業上の業績に対して授与されたものであります。

「これは私の生涯で最も感激的な受賞であります。私はそれにふさわしく生きて行きたいと念願しております」。キャスパー氏はこのように言いました。

キャスパー氏と夫人のシャレイ及び三人の子供ビリー、ボビ、リンダは一九六六年一月一日にバプテスマを受けました。

キャスパー氏は「一九六六年は私のゴルフの最高の年でした」と言っております。彼は職業ゴルフ協会の年度賞、ワルドントロフィ、ブライオン・ヘルソン賞を獲得し、ゲーム賞金最高額受領者でありました。

キャスパー氏はバプテスマ以前の自分の生活に就て次のように言っております。



名ゴル ビリー B.Y.U.

「私は私の生活に空所があることを知っていました。そこには飢えと渇きがありました。その空所が今満たされました。福音は私の生涯に於て最も大切なものであります」。

キャスパー夫人は言っております。

「私は私の夫を非常に誇りに思っております。私は彼の人類愛、またゴルフに対する愛を誇りとしています。私は彼の子供たちの母親であることに誇りを感じております。そして私たちは二人とも私たちが教会に入るまでは、何も持っていなかったことを知っております。」

キャスパー氏は彼のゴルフの才能は、神から授けられたもので彼はそれを正しく用いる責任があると考えております。

「ゴルフという媒介を通じて私は福音を広める機会を持つであろうと感じます」彼はこのように説明しております。

過去に於て模範男性賞を受領した人たちは次の人々であります。

ジョージ・ロムニー・シガン州知事

N・エルドン・タナー 副管長

ヴァノン・ラウ

アート・リンクレター

マリオン・G・ハンクス長老

ジーン・フルマー

J・ウイラード・マリオット

証

わかちあたえるよろこび

当馬陸男長老



三月に入っただばかりの山形は、まだ寒さがきびしく、南国に生まれた私には、春を感じさせない日が続いておりました。その日も、同僚と私は、いつもの通り、戸別訪問に出かけました。出かける前に二人は、ひざまづいて神様に祈りました。

「神様、どうか今日、私たちを福音を聞く準備の出来ている人々にお導き下さい。永遠の生命と、あなたの良き音づれを謙尊な気持ちで受け入れる人々に、私達をおつかわし下さ

い。」と祈り終えた二人は、強く、みたまを感じ、心の中に安らぎと自信のようなものが、でてきたのです。

その日、私達は、支部から歩いて四〇分ばかりの、新しい住宅街を訪問しようと思いましたが、しかし、支部の建物をでる前から、空をおおい始めた雲が、途中で雪を降らせ、サタンが、私たちの志気をくじこうとでもするかのように、目的地に着いた頃には、さらにはげしくなり、強い風が横に吹きつけ、ふぶ

きのようになっていました。せっかく雪がとけて、土はだをみせていた土地も、また一面に真白い雪におおわれてしまいました。

「ごめんなさい。私たちは末日聖徒イエス・キリスト教会の宣教師です。神様の大切なメッセージを持ってまいりました。貴方と御家族皆さんにとって、本当に価値のある神様の教えです。聞いていただませんか。」

一軒、二軒、三軒と、戸をノックしてゆきましたが、ある人は困ったように、ある人は

無愛想に、あたある人は、私たちのメーサー
ジより、外の冷い空気、吹きこむ雪の方が気
になるらしく、冷く戸を閉めてしまいまし
た。三〇軒、四〇軒ノックして、けっこうで
す、という返事を聞くと、始めの元氣はどこ
えやら、私達はずいぶんがっかりしてしま
いました。雪の中のゴム靴が、一層冷く感じ
られて、二人共も、ずいぶん口数が少くなり
今日は日が悪いのだと、あきらめようとした
時に、出かける前に祈った時、心の中に感じ
た。あの温い気持が、はつきりと思い出され
勇気を出して、ノックしつづけました。そし
て、その日最後に訪ねた家が、田村さんとい
う、すばらしい家族だったのです。訪問の目
的を上げると、心よく迎え入れて下さいまし
た。なかには、温かいストーブがたかれてい
て、私たちくるのを待っていたかのようにし
た。途中でくじけて帰らなかった事を神様に
感謝せずにはおれませんでした。

私たちは、その晩、よろこびに満ちて、キリ
ストの真の教会が、再び地上に回復されたこ
と、神様とイエス・キリストが真に生き給ひ
ジョセフ・スミスの前に現われたことを証
し、さらにくわしく話すため、次の集会の約
束をして帰ったのでした。この家族こそ、神
様が私たちの祈りに答えて、導いて下さった
永遠の生命と、真理を受け入れる家族である
と強く心に感じ、同僚と私は、アルマとその
兄弟が味わったような喜びを、味わったので

した。

「私は主が私に下のたもうた命令を悟り、
これに誇りを感じている。私は自分に誇り
を感じるのではない。主が私に命じたもう
ことを誇りに思うのである。すなわち私
は神の御手に使われて誰かを悔い改めさせ
るかと思つて誇りを感じ喜ぶのである。そ
れでもしも兄弟の中の多くが真心から悔い
改めてその神である主に立ち帰るのを見る
ときには、私の全身全霊は喜びに満ちて主
が私のためになしたものと、すなわち私
の祈りを聞きとどけて下さったことと、私
に深い憐みの手を伸ばして下さったことと
をその時思い出すのである」(マルマ書二
九章九節—十節)

私は神様が、いたらない私にこのようなす
ばらしい経験を与えて下さることに心から感
謝せずにはいれません。宣教師として、み
たま、のみちびきを日々感じながら、この真
の福音を伝へ自分の証しをさらに強くする事
が出来ることが喜びを感じ、物心両面に援助
して下さる家族、兄弟姉妹、神様に深く感謝
しています。

私は神様は真に生き居り、イエスは全人類
の救い主であること、予言者ジョセフ・スミ
スを通してモルモン経が私たちに与えられた
ことを謹んで証しいたします。私はモルモン
経を読んで謙尊に祈った人で、この書物の真
実性を悟らなかつた人を、今まででみたこと

がありません。これからのないであろうと強
く確信しています。世界で最も価値のあるメ
ーサージを、隣人にわかち与えること以上に
大きなよろこびはない、とはつきりわかつて
おります。神様も近代の啓示の中で

「さて見よ、われいま汝に告ぐ、すなわち
汝にとりて最も価値あることは、汝今の代
の人々に悔い改めを宣べて人々をわれに導
き、以て彼れらと共に父の御目に休まんこ
となり。」教義と聖約一五章六節

神様の業、つまり、人に不死不滅と永遠の
生命をもたらす業を助け、その人々と共に神
の御国に住むことが出来るように、私は心か
ら望むのです。神様の豊かな祝福が皆様の上
にありますようにイエス・キリストの御名を
通してお祈りいたします。アーメン

あなたはどこをまちがいやすいか

第二回神殿訪問計画にあたって、多く

の兄弟姉妹から系図や家族の記録が提出

されましたが、短時間にまとめたものや

よく書き方を理解しないで記入したもの

などが多くあったため、いろいろな誤を

系図協会の方から指摘されました。そこ

で、私たちのまちがいやすい点はどこか

をまとめ将来の参考のためにしました。

なお不明の点については、系図協会の南

城姉妹に直接連絡し解答を得ましたので

それもあわせて参考にしてください。

第二回神殿訪問に際して多くの兄弟姉妹から系図及び家族の記録が提出されましたが、共通の脱落誤謬、或は不完全並に質問事項を将来の参考のために掲げます。

脱落

一、バプテスマの年月日

子供よりも夫、妻の場合が特に多い。

二、出所

資料の出所を必ずできるだけ悉しく記入して下さい。

三、住所の漢字

同一の場合は一箇処だけ書けばよろしい。

四、系図の提出月日、氏名住所

五、支部検査員のサイン

誤謬

一、夫及び妻と家族代表者との関係特に傍系の場合

これは一九六五年五月号聖徒の道に載

せてありますからよく研究して正しく書いて下さい。外戚の方は必ず *in law* となることを忘れないように。

二、継父母の場合 *step* をつけること *in law* ではない。

三、婿養子のような場合、後の姓(養家)を先に書き以前の姓を後に書く、これは如何なる場合でも同様は *step* の姓を後にします。

不完全

一、現に生存中の者の氏名、生年月日、結婚年月日又その場所などが記入され

ていない。これは通信その他の方法により努力すれば得られる情報です。

二、家族代表の二等親三等親ぐらい迄は努力すれば右事項はわかる筈である。

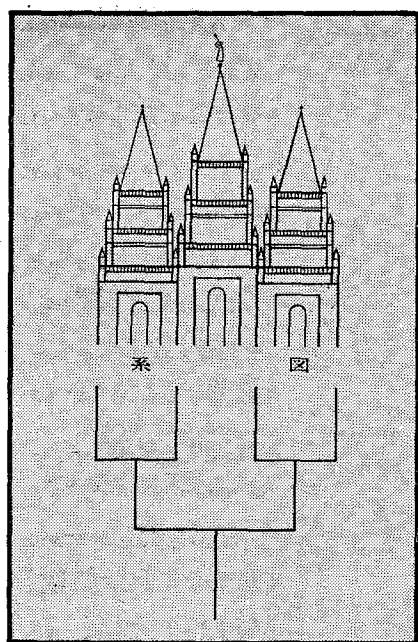
三、悉く説明すること(南城姉妹よりの注告)

よく戦争や空襲などで同じ日に沢山の人が死亡した場合シート上に同じ死亡日と並んでいきますが説明をつけてほしいと思います。とにかくあまりにも説明が日本のシートに少なすぎて困ります。

何でもできるだけくわしく書いていたで

きたいと思えます。先程の死亡日も何月何日に大きな空襲がありとか、養子の場合も子供がいなかったたので嫁も婿も養子に

来たとか、裏面に日本語でいいですか



ら書いて下さい。何番目の子供は何才の時に、流行した赤痢にかかって死んだとか、そして次の日に次の子が死んだとか文にして書いてほしいと思います。それでないときあまり不自然なことがあるとプロセスできません。

地名はなるべくくわしく裏面を使ってもいいですから漢字も記入して下さい。何々郡、何々県はまだいいですが、何々村何々県と記入してありしかもその後、地名が変更していたりするとまったく困ります。古いものに何々の国と書かれていた時必ず現在何県と記入して下さい。ある程度調べられますが一つの国がある部分は何県にと別れている時、全く困ります。そして田舎の地方の地名をまちがって読んでローマ字で記入してある例が多いので必ず漢字を裏面に記入して下さい。

さい。

質問事項 (南城姉妹解答)

一、家族代表について

八才以下の子供がFRになれるかとの質問ですが原則としてなれないことになっておりますが日本の場合例外として認めております。例えば妻だけ会員であり夫側の系図も取扱いたい時の様な場合です。しかも御質問の若いメンバーの夫婦が何故子供を無理にFRにしたいか理由がわかりません。一つ考えられることは一つのグループのシートが提出され様とする時FRが妻と夫の名として別れると面倒だからですか？ とにかく何かの理由があり小さな子供をFRにしたい場合(八才以下)はできますが理由をつけて下さい。

二、漢字記入のため用紙が小さすぎるとゆう件

こちらのアーカイブに残ります記録は住所を漢字で記入いたしません。しかしプロセスの課程に於て地名であり時間に時間をとりますので漢字を記入する方法をとりました。ただ参考のためはつきりするためです。家族全員同じ住所を記入する事なくシートの裏に書いて下さい。裏面は全部使ってもいいのですから、それに同じ地名をくり返し書く必要はありません。

三、About の使い方

もしその人が明治二年出生とわかった

なら1869と記しAboutを入れなくてもいいのです。結婚、死亡年月日すべてそうです。Aboutはとにかく大体何年頃とその二、三年の間とか、はっきりしない時だけです。

四、Reg の使い方

結婚年月日にすべてRegをつけているのがありますが、こちらでは子供が結婚年月日前に出生したり、何か不明瞭な点がある時にだけ使用していますので、戸籍謄本が全部レジスターデイトだとしてRegをつけられると困ります。

五、代々同じ名を使用している場合、何代も同じ名前前で何代目かわからない場合、戒名で区別するのはいい方法です。しかし生年月日がわかっていればどれが始めかわかるわけですね、無理に初代、二代とつけることはありません。何故なら妻の名、生年等で区別できます。但し一番困ることは過去帳のように同姓同名としてただ死亡年月日何才と書かれている様な場合、どれがどれの親か子かさっぱりわかりません。ある時は子の方が親より先に死亡していますし、それでこの場合は外のデータが見つかると迄系図を作成することはできません。しかし外のデータののはつきりしている場合は同姓同名が夫、夫の父、夫の子供とあってもさしつかえありません。

六、続柄のはつきりしない過去帳の死亡

PEDIGREE CHART

CHART NO. 1

DATE 27 May 1966 昭和41年3月27日
NAME OF PERSON SUBMITTING CHART 石坂元吉
SECRET ADDRESS 石坂元吉
100-1 Minami-Senju-cho, Otaka-ku
City Tokyo STATE Japan

NAME OF CHART IS AS IN CHART NO.

ISHIZAKA, Kaichi 石坂一
BORN 21 Jan 1943 昭和18年1月21日
WHERE Shikishima-mura Seta-gun Gunma-ken
WHEN MARKED DIED WHERE

NAME OF HUSBAND OR WIFE

ISHIZAKA, Moyo 石坂基
BORN 15 Aug 1911 昭和14年8月15日
WHERE Shikishima-mura Seta-gun Gunma-ken
DIED WHERE

NOTE: THE NAMES OF RECORD ON BACK HAVE THIS INFORMATION WAS OBTAINED. REFERENCE BY NUMBER.
* Notice
Shikishima-mura, Yokosumi Taniuchi-mura, Maebashi-mura
Miyama-mura is now Akiyama-mura
Harano-mura is now Fujimura-mura
Toguchi-mura is now Maebashi-mura
Setagaya-mura is now Seta-gun
Kosuke-mura is now Gunma-ken

4 IWATA, Jutarō 石田重太郎
BORN 31 Mar 1877 明治10年3月31日
WHERE Takizawa-mura Gunma-ken
WHEN MARKED 31 Jan 1945
DIED 5 Jan 1945 昭和19年1月5日
WHERE Yokosumi-mura Seta-gun Gunma-ken

5 TAKADA, Naka 高田中
BORN 19 Feb 1878 明治11年2月19日
WHERE Harano-mura Gunma-ken
WHEN MARKED 21 May 1918 昭和14年5月21日
WHERE Yokosumi-mura Seta-gun Gunma-ken

6 ISHIZAKA, Hachiro 石坂八次郎
BORN 15 July 1883 明治16年7月15日
WHERE Shikishima-mura Seta-gun Gunma-ken
WHEN MARKED 30 June 1911 昭和14年6月30日
DIED 18 Jan 1955 昭和30年1月18日
WHERE Shikishima-mura Seta-gun Gunma-ken

7 FUJIKAWA, Take 藤田武
BORN 16 Feb 1886 明治19年2月16日
WHERE Shikishima-mura Seta-gun Gunma-ken
WHEN MARKED 14 Feb 1960 昭和35年2月14日
WHERE Akiyama-mura Seta-gun Gunma-ken

8 IWATA, Ukiyo 岩田幸造
BORN 17 Mar 1853 明治6年3月17日
WHERE Takizawa-mura Kōshō-mura
WHEN MARKED 10 May 1875
DIED 1 Feb 1911 昭和14年2月1日
WHERE Yokosumi-mura Seta-gun Gunma-ken

9 TAKADA, Haru 高田春
BORN 4 Feb 1822 文政4年2月4日
WHERE Harano-mura Kōshō-mura
DIED 10 Feb 1920 昭和45年2月10日
WHERE Yokosumi-mura Seta-gun Gunma-ken

10 TAKADA, Chōji 高田長治
BORN 28 Dec 1846 明治19年12月28日
WHERE Harano-mura Kōshō-mura
WHEN MARKED 17 Dec 1866
DIED 17 Feb 1901 昭和26年2月17日
WHERE Yokosumi-mura Seta-gun Gunma-ken

11 SHIMADA, Rii 島田理
BORN 8 May 1850 明治13年5月8日
WHERE Takizawa-mura Kōshō-mura
DIED 11 June 1920 昭和45年6月11日
WHERE Yokosumi-mura Seta-gun Gunma-ken

12 ISHIZAKA, Mōhe 石坂茂平
BORN 20 Feb 1844 明治17年2月20日
WHERE Takizawa-mura Kōshō-mura
WHEN MARKED 21 Feb 1875
DIED 30 July 1901 昭和26年7月30日
WHERE Yokosumi-mura Seta-gun Gunma-ken

14 FUJIKAWA, Kuzō 藤田光造
BORN 17 Apr 1842 明治15年4月17日
WHERE Shikishima-mura Seta-gun Gunma-ken
WHEN MARKED 15 Dec 1861 明治14年12月15日
DIED 26 Oct 1901 昭和26年10月26日
WHERE Yokosumi-mura Seta-gun Gunma-ken

15 ISHIZAKA, Kō 石坂孝
BORN 10 Dec 1842 明治15年12月10日
WHERE Takizawa-mura Kōshō-mura
DIED 24 Nov 1902 昭和27年11月24日
WHERE Takizawa-mura Seta-gun Gunma-ken

16 IWATA, Kōbei 岩田幸平
BORN 17 Mar 1853 明治6年3月17日
WHERE Takizawa-mura Kōshō-mura
WHEN MARKED 10 May 1875
DIED 1 Feb 1911 昭和14年2月1日
WHERE Yokosumi-mura Seta-gun Gunma-ken

19 TAKADA, Chōji 高田長治
BORN 28 Dec 1846 明治19年12月28日
WHERE Harano-mura Kōshō-mura
WHEN MARKED 17 Dec 1866
DIED 17 Feb 1901 昭和26年2月17日
WHERE Yokosumi-mura Seta-gun Gunma-ken

21 SHIMADA, Rii 島田理
BORN 8 May 1850 明治13年5月8日
WHERE Takizawa-mura Kōshō-mura
DIED 11 June 1920 昭和45年6月11日
WHERE Yokosumi-mura Seta-gun Gunma-ken

22 UCHIYAMA, Ichi 内山一
BORN 17 Mar 1853 明治6年3月17日
WHERE Takizawa-mura Kōshō-mura
WHEN MARKED 10 May 1875
DIED 1 Feb 1911 昭和14年2月1日
WHERE Yokosumi-mura Seta-gun Gunma-ken

23 ISHIZAKA, Ezo 石坂左衛門
BORN 20 Feb 1844 明治17年2月20日
WHERE Takizawa-mura Kōshō-mura
WHEN MARKED 21 Feb 1875
DIED 30 July 1901 昭和26年7月30日
WHERE Yokosumi-mura Seta-gun Gunma-ken

26 FUJIKAWA, Kōbei 藤田幸平
BORN 17 Apr 1842 明治15年4月17日
WHERE Shikishima-mura Seta-gun Gunma-ken
WHEN MARKED 15 Dec 1861 明治14年12月15日
DIED 26 Oct 1901 昭和26年10月26日
WHERE Yokosumi-mura Seta-gun Gunma-ken

31 ISHIZAKA, Mune 石坂政
BORN 10 Dec 1842 明治15年12月10日
WHERE Takizawa-mura Kōshō-mura
DIED 24 Nov 1902 昭和27年11月24日
WHERE Takizawa-mura Seta-gun Gunma-ken

系図の書き方 (見本) 本文と合せて誤りをみつけてください

七、読み方がわからないが漢字の名前がある時
一番よいと思われる読み方を用紙に書き込み下の必要事項のところにその外その名前はどの様にも読めると記入して下さい。この問題が起るため、すべて姓名は漢字を記入のことに決まったわけ。こちらでは山下太郎はローマ字の YAMASHITA TARO ではなくあくまでも漢字で書いた山下太郎であるとうたててます。
八、女が主眼でも四回でも結婚した場合
シートは一枚ずつ各夫毎に作成されま

者について
親戚ではあるがというときですがヨーロッパでは「リラティヴ(親戚)」と書いています。しかしポリネシアでそれを今大混乱をおこして整理するのには大変困っています。それで日本の方々なるべく努力して続柄をみつけれ、もしどうしてもだめならこれは過去帳にのっててたしかに私との関係があるとか説明をつけて下さい。できるだけくわしくどこに保存されていた誰かの過去帳であるとかくわしく書いて下さい。系図用紙の裏側を利用して下さい。いろいろな国から送られてくる系図は裏側にまるで歴史を完全に写しているようなものが多いですが大変参考になります。日本語でいいですから書いて下さい。
九、沢山名前を持つている場合
成長するにつれて変名して行った場合は一番晩年に使われていて人々に知られていた名を書き込み、下のセセサリ・エクスプラネーションのらんに、幼名○○号○○字○○というように記入して下さい。例えば昔の武士の名のように「南城勝右衛門源近信」とあった場合、全部書いてしまってもよろしいですが、南城勝右衛門と記入して下に説明として「同時に源近信として知られている」と記入しても結構です。本名と戒名がわかっていての場合は本名(俗名)を記入して下に説明として戒名を書きます。できるかぎりのすべて

シートに記入されます。最初の夫のシートにアダプティッドとして記入される必要はありません。神殿において選ぶわけですから離婚の場合、又離婚していても本人が生きていてシールされるのを望まない夫の場合は、はっきりとその旨を書く必要があります。何も説明しませんが原則の通りに第一の夫にシールされてしまうからです。夫の氏名の不明な場合も、夫氏名不詳としてシートを作ります。系図協会の方でアナリスト、トランスクリイパー等が原則にそって系図を完成して行きますのでパトロンはなるべくくわしく事情希望などの説明をして下さい。シートの裏面を使っても結構です。
九、沢山名前を持つている場合
成長するにつれて変名して行った場合は一番晩年に使われていて人々に知られていた名を書き込み、下のセセサリ・エクスプラネーションのらんに、幼名○○号○○字○○というように記入して下さい。例えば昔の武士の名のように「南城勝右衛門源近信」とあった場合、全部書いてしまってもよろしいですが、南城勝右衛門と記入して下に説明として「同時に源近信として知られている」と記入しても結構です。本名と戒名がわかっていての場合は本名(俗名)を記入して下に説明として戒名を書きます。できるかぎりのすべて

HUSBAND IWATA, Jotarō 岩田 重太郎 Born: 31 Mar 1877 明治10年3月31日 Place: Takizawa-mura (now Akagi-mura), Gumma-ken Mar: 31 Jan 1895 明治23年1月31日 Place: Yokono-mura (now Akagi-mura), Seta-gun, Gumma-ken Died: 5 Jan 1942 昭和17年1月5日 Place: Yokono-mura (now Akagi-mura), Seta-gun, Gumma-ken Bur: 21 May 1938 昭和13年5月21日 Place: Yokono-mura (now Akagi-mura), Seta-gun, Gumma-ken WIFE: IWATA, Ukizō 岩田 幸造 FATHER: IWATA, Ukizō 岩田 幸造 MOTHER: IWATA, Ukizō 岩田 幸造				Husband IWATA, Jotarō 岩田 重太郎 Wife: TAKADA, Naka 高田 中か Examiners: R. Hida, E. Kishi, K. Kishi Stake or Mission: WATASE, Masao 渡辺 正雄 244, Minami-Senryō-cho, Ōta-ku, Tokyo																																																																																																																			
WIFE TAKADA, Naka 高田 中か Born: 19 Feb 1878 明治11年2月19日 Place: Haranogō (now Fuji-mura), Gumma-ken Died: 21 May 1938 昭和13年5月21日 Place: Yokono-mura (now Akagi-mura), Seta-gun, Gumma-ken Bur: 21 May 1938 昭和13年5月21日 Place: Yokono-mura (now Akagi-mura), Seta-gun, Gumma-ken FATHER: TAKADA, Chōji 高田 長治 MOTHER: SHIMADA, Rii 島田 リ子				Family Representative ISHIZAKA, Kaichi 石塚 嘉一 Relation to H: Grand Son Grand Son TEMPLE ORDINANCE DATA Baptized (date): 22 July 1916 Married (date): 24 Jan 1943 Child (date): 14 May 1917																																																																																																																			
CHILDREN <table border="1"> <thead> <tr> <th>SEX</th> <th>NAME</th> <th>WHEN BORN</th> <th>WHERE BORN</th> <th>DATE OF FIRST MARRIAGE</th> <th>WHEN</th> <th>PLACE</th> <th>YEAR</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>DAY MONTH YEAR</th> <th>TOWN</th> <th>COUNTY</th> <th>TO WHOM</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M</td> <td>IWATA, Genzō</td> <td>1 Nov 1897</td> <td>Yokono-mura (now Akagi-mura), Seta-gun</td> <td>Gumma-ken Japan</td> <td>22 July 1916</td> <td>9 June 1962</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M</td> <td>岩田 源造</td> <td>明治29年11月1日</td> <td></td> <td></td> <td>22 July 1916</td> <td>昭和37年6月7日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M</td> <td>IWATA, Tsunematsu</td> <td>21 Nov 1901</td> <td>"</td> <td>"</td> <td>10 Feb 1931</td> <td>24 Jan 1943</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M</td> <td>岩田 常松</td> <td>明治34年11月21日</td> <td></td> <td></td> <td>10 Feb 1931</td> <td>昭和18年1月24日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M</td> <td>IWATA, Motokichi</td> <td>29 July 1905</td> <td>"</td> <td>"</td> <td>11 May 1931</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>M</td> <td>岩田 元吉</td> <td>明治33年7月29日</td> <td></td> <td></td> <td>11 May 1931</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>IWATA, Toki</td> <td>24 Sept 1908</td> <td>"</td> <td>"</td> <td>26 Apr 1931</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>岩田 トキ</td> <td>明治41年9月24日</td> <td></td> <td></td> <td>26 Apr 1931</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>IWATA, To</td> <td>21 Sept 1916</td> <td>"</td> <td>"</td> <td>14 May 1917</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>岩田 ト</td> <td>明治49年9月21日</td> <td></td> <td></td> <td>14 May 1917</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>IWATA, To</td> <td>21 Sept 1916</td> <td>"</td> <td>"</td> <td>14 May 1917</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>岩田 ト</td> <td>明治49年9月21日</td> <td></td> <td></td> <td>14 May 1917</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				SEX	NAME	WHEN BORN	WHERE BORN	DATE OF FIRST MARRIAGE	WHEN	PLACE	YEAR			DAY MONTH YEAR	TOWN	COUNTY	TO WHOM			M	IWATA, Genzō	1 Nov 1897	Yokono-mura (now Akagi-mura), Seta-gun	Gumma-ken Japan	22 July 1916	9 June 1962		M	岩田 源造	明治29年11月1日			22 July 1916	昭和37年6月7日		M	IWATA, Tsunematsu	21 Nov 1901	"	"	10 Feb 1931	24 Jan 1943		M	岩田 常松	明治34年11月21日			10 Feb 1931	昭和18年1月24日		M	IWATA, Motokichi	29 July 1905	"	"	11 May 1931			M	岩田 元吉	明治33年7月29日			11 May 1931			F	IWATA, Toki	24 Sept 1908	"	"	26 Apr 1931			F	岩田 トキ	明治41年9月24日			26 Apr 1931			F	IWATA, To	21 Sept 1916	"	"	14 May 1917			F	岩田 ト	明治49年9月21日			14 May 1917			F	IWATA, To	21 Sept 1916	"	"	14 May 1917			F	岩田 ト	明治49年9月21日			14 May 1917			OTHER MARRIAGES No. 1: IWATA, Genzō m. (2) 20 May 1926 TAKADA, Koyo 岩田 源造 大正15年5月20日 高田 幸雄 No. 2: IWATA, Genzō m. (2) 20 May 1926 TAKADA, Koyo 岩田 源造 大正15年5月20日 高田 幸雄			
SEX	NAME	WHEN BORN	WHERE BORN	DATE OF FIRST MARRIAGE	WHEN	PLACE	YEAR																																																																																																																
		DAY MONTH YEAR	TOWN	COUNTY	TO WHOM																																																																																																																		
M	IWATA, Genzō	1 Nov 1897	Yokono-mura (now Akagi-mura), Seta-gun	Gumma-ken Japan	22 July 1916	9 June 1962																																																																																																																	
M	岩田 源造	明治29年11月1日			22 July 1916	昭和37年6月7日																																																																																																																	
M	IWATA, Tsunematsu	21 Nov 1901	"	"	10 Feb 1931	24 Jan 1943																																																																																																																	
M	岩田 常松	明治34年11月21日			10 Feb 1931	昭和18年1月24日																																																																																																																	
M	IWATA, Motokichi	29 July 1905	"	"	11 May 1931																																																																																																																		
M	岩田 元吉	明治33年7月29日			11 May 1931																																																																																																																		
F	IWATA, Toki	24 Sept 1908	"	"	26 Apr 1931																																																																																																																		
F	岩田 トキ	明治41年9月24日			26 Apr 1931																																																																																																																		
F	IWATA, To	21 Sept 1916	"	"	14 May 1917																																																																																																																		
F	岩田 ト	明治49年9月21日			14 May 1917																																																																																																																		
F	IWATA, To	21 Sept 1916	"	"	14 May 1917																																																																																																																		
F	岩田 ト	明治49年9月21日			14 May 1917																																																																																																																		
SOURCES OF INFORMATION Koseki Tōhon (Census Registration) Akagi-mura village office... 568-1 Shikishima, Akagi-mura, Seta-gun, Gumma-ken.				NECESSARY EXPLANATIONS																																																																																																																			

F・Gシートの記入例、本文と合せて誤りをみつけてください

十、内縁関係の場合のシーリング

内縁関係の場合でもその場合によってシールされる場合があります。例えば、妾であり子供が生れていない時、そしてその女性の外に結婚してない時、もし会員である本人が会員である彼女の夫（内縁の）か二人の間の子供が生れていてそれを望んだ時はシールされます。但し必ず生きている人の希望によります。例えば私の母が誰かの妾であり、私を産み外に結婚してない時、母と私の父（母からすれば内縁の夫）は、シールすることができて当然私も彼らとシールされます。またもし母が前に結婚したことがあり、離婚している場合もそれができます。また母の前の夫が死亡していた場合私自身の判断がまた母が生きていれば母の判断でまかせられます。ですからそれぞれ違ってくるわけで系図上特に日本の系図上正しい結婚であるということと内縁関係であるということは生きている人々の希望と判断にまかせられ、法律上の意義はあまり問題でなくります。

原則は子供はいつも母親とシールされるという事です。ですからこの次に説明します養子の時も、前の姓名の場合も同じように説明をくわしく書く必要があります。また日本のメカケとい

十一、養子縁組の場合のシーリング

これもそれぞれのケースによって異なります。実家、養家の系図を書くことは必要ですがそれぞれに子供として書き込み、説明のらんに何時どんな形の養子としてこの家族にきたとか、あの家族にいったとか書き込みます。そしてシールされたくない両親のシートの自分が子供として記入してある。シーリングのらんに「DO NOT SEAL」を記入します。ですから何才位で養子にいったとか、どのような養子かが大切になってきます。御質問の答えは両方のシートに記入して下さいということですが。但しパトロンがはつきりとどれにシールしたいか説明をくわえること、原則はありますが日本の場合、エクセプションばかりですので一つ一つ判断してゆかなければなりません。

（註）質問、養子が実父母並に養父母の両家のためにシートを作る場合直接実父母及び養父母両方のシートの子供のらんに自分の名を書き、但しどちらにシーリングを希望するかを両方のシートに記入するのか？ 養父母のシートに養子と記入しない場合は、実父母のシートには子供としてその名を記入しないのか？

（次号に続く）

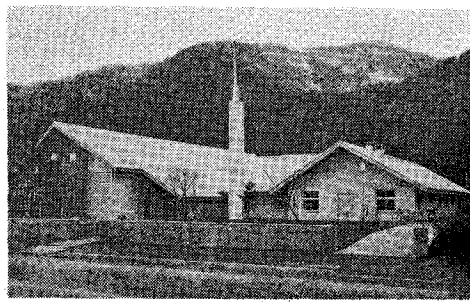
天にまします我等の父よ、御名を崇めさせ給え。汝を拝すべき処を備えたる、この記念すべきとき、我等頭を垂れて汝に倚り奉る。

天なる父よ、我等各々バプテスマの水に入りて、賜りし恵を感謝し奉る。願わくば、我等が汝に立てたる誓約を憶え、生涯の終りに到る迄、誠にして忠実ならんことを。

天なる父よ。御子の御業をつつしみて感謝し奉る。その為し給ひし大いなる贖いのため、汝と御子とを讃え奉る。また御子、汝と共にこの時代を訪へおとなしい給ひ、再び真理を顕し給ひしを感謝し奉る。

我等、予言者ジョセフ・スミスの勇氣、信仰、不屈を感謝し奉る。その死に到るまで、誠にして忠実なりしを感謝し奉る。彼、自らの証の故に命を奪れしかど、一瞬も疑わざりき。

我等、人々を西へとロッキーマウンテンに率い行きしブリガムヤングを感謝し奉る。モルモンが彼処に大いなる王国を建て、而して、四方の国々へ拡り行しを感謝し奉る。彼等北に、南に



東に、西に出て行き、村々を建て、市々を興し、不毛の国に建設を果せり。北はカナダ、南はメキシコにその足跡を印し、教会をば打ち建てぬ。西はカリフォルニア、更にハワイに及び、下りては南洋の島々、ニュージーランド、オーストラリア、而してこの日本の地、支那までも到り、御子の福音を各々の民に伝えぬ。彼等の名を讃え、その生涯のために謙いて我等、汝に感謝し奉る。

さて天なる父よ、汝が僕とし、且我が

持てる神権の力によりて、此処に集える人々のため、はた全教会の人々のため、我、此の家を汝に献げ奉る。只にこの家のみならず、その立ちたる土地、それを囲む土地、近接の建物をも献げ奉る。おお主よ、この家をば、その礎より屋根に到るまで献げ奉る。塙子、腰掛、電気設備、樂器類、また凡てこの建物に属く一切を献げ奉る。おお主よ、これらをば謙りたる心もて献げ奉る。この奉物を汝受け給いて神の家とならしめ給ひ、而して我等ふさわしく此処に来るを得るよう祈り奉る。凡て汚れたるもの、此処に入らざるよう、またそれが風雨より守られ、来るべき長き年月、此処に於ける汝が民の礼拝のため保たれるよう祈り奉る。

おお神よ、我等イエス・キリストの福音を感謝し奉る。而して、我等キリストの教会の会員たるにふさわしき者と認められしを感謝し奉る。我等、祈り願うらくは、この賜りし恵を、凡て耳を傾くる者と、進みて共にせんことなり。汝日給えり、「価なくして受けたれば、価なくして与えよ」と。然して我等、此の夕誓約を汝に立つるは、凡て己が交る者に

キリストの福音を伝うべく全てをつくさんことなり。

汝が恵みを凡て感謝し奉る。願わくば我等が罪を赦給わんことを。我等、明日はふさわしく生き、終りに到るまでまことをもて貰くよう、御導きを祈り奉る。

主よ、我等自らと共に、此の建物及び、そこに属く一切とを献げ奉る。それが捧げらるるみたまをもて、汝をば受け給え。常に此の家を汝が聖霊をもて恵み給え。凡て此処に来る者が聖霊を認め、感じ動かされ、而して、その来りしが故に真理に帰依せんことを祈り奉る。凡てこの壇より語る者が聖霊の靈感の下に語り、而して凡て此処に来る者をして、我等の携わるこの大いなる業の真理と重大な意味とを確信せしむるよう、汝が祝福を乞ひ奉る。

我等、御恵を感謝しつつ、この献堂の祈りを献げ奉る。汝が御霊、常に我等と共にあらんことを。この御恵、謙りて、主イエスキリストの御名により祈り奉る。アーメン。



日曜学校ガイド

伝道部日曜学校会長会

ロッキー山脈中に平和と安息の地を求めたモルモン教徒の開拓者たちの長い旅は、一八四六年二月四日イリノイ州のノーヴーから始つたのである。暴徒たちが彼らモルモンの住んでいた町を焼払おうとする脅迫をきいて、契約期限の二カ月前にミシシッピ川を渡って西方におもむいたのであった。冬に備えての必死の努力にもかかわらず、多くの者は不十分な準備しか出来なかつた。数千の聖徒たちがミシシッピ川を越えておよそ七マイルの地点にあるシュガークリークに集つた時は、酷寒の中でテントや幌馬車の中に住んでいた。幌馬車は雪と泥のために遅々として西に進んで行つた。ミズリー川の近くにあるウインタークォーターにたどりつくまでに四ヶ月もかかつた。そこでは後から続いて来る人たちのために穀物の栽培も試みられたが、すでに時期が遅くなつてゐた。しかし家が建てられ家畜用の干草がとられたり、野性の動物の肉を塩漬にしたり、数ブッシュェルの野いちごをとって貯えることができた。しかし多くの聖徒たちはノーヴーをたつてからの長い旅の間にすっかり弱り切つてしまつた。彼らは野菜や果実を食べる機会がほとんどなかつたので懷血病やマラリアその他の諸々の病におかされやすくなつてゐた。ミズリーからもつて来たかなりの馬鈴薯と近くの古い岩の中から見つけられたワサビなどがあつて、少しは病いを防ぐたしになつた。しかしそれにして

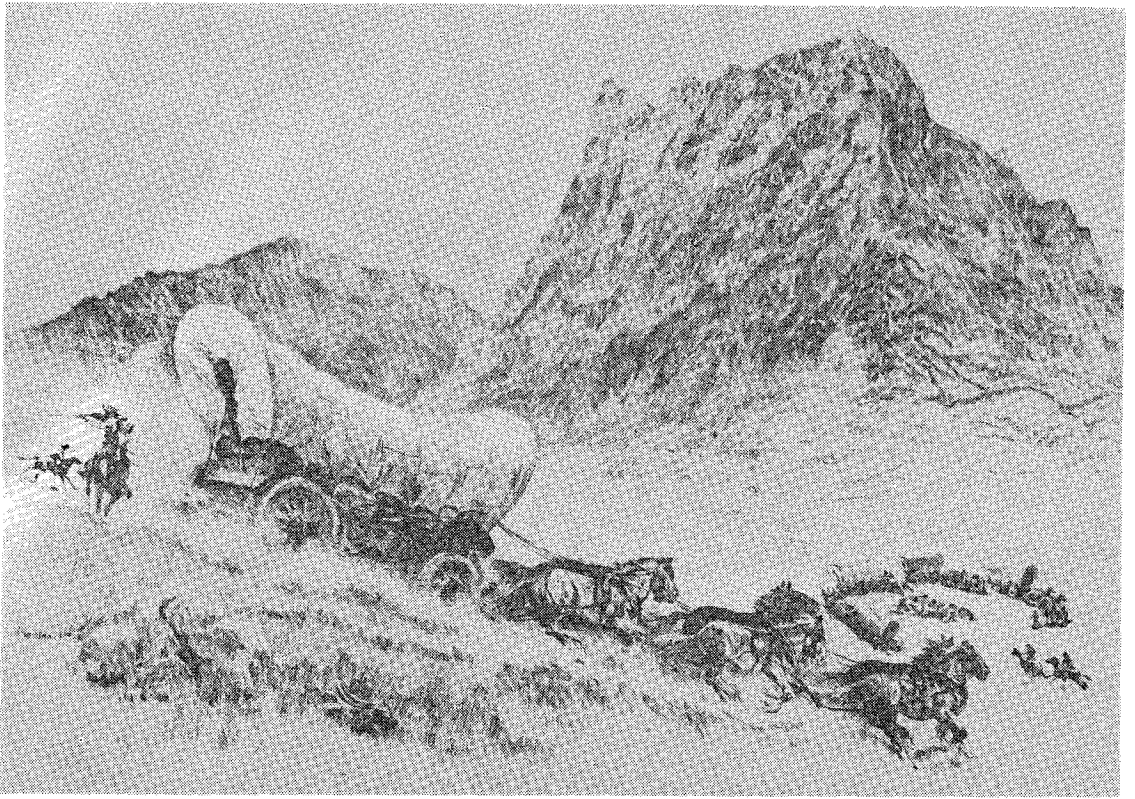
も六百人近い人々が、ウインタークォーターに於ける厳しい冬の寒さの中で生命を失つてゐたのである。

その当時聖徒たちの心の中には一つの考えがあつた。それは、春に西に向う、ということであつた。一八四七年の四月五日ウインタークォーターに留まる人々の中から最初の一隊が選ばれて先行して道をつけたら、どのルートを通ることが最もよく、また最終的に定着でき得る地点を探すことが任務とされた。この最初の一隊こそブリガム・ヤングに引いられた一四三人の男と三人の女と二人の子供たちからなる隊であつた。

残りの聖徒たちはいくつかのグループに分れて、後に続いて行つた。最初の開拓者の一隊は砲をひいて行き彼らに下された命令は砲がいつでも使えるようになってゐること、幌馬車はいつも一緒にかたまつてゐることにすることであつた。ブリガムヤングの強い指導力のもとで、会員たちは毎朝五時に起床して朝の祈りをしてから食事をとり家畜の世話をしてから、その日の旅を夜の七時までつづけた。一日の終りには幌馬車で輪をつくるようにしてキャンプを張り八時三十分には祈りをしてから九時までには全員が就寝するという秩序い正し生活をした。屋の旅は毎日様々な天候にあり、山また川あるいは砂地や草地を通して、はてしないものであつた。手持ちの貯えを少しでも儉約するために、たえず野性の食物

を見つけては食べ、また家畜の飼になつた。そのような苦しい旅をつづけながらも、七月十二日にグリーンリバーに着く頃には、いわゆる高山病にかかる病人が続々と出て、ついに隊長のブリガムヤングもひどい病にかかつて幾日かは隊に遅れて休まなければならなかつた。オルソン・プラットに引いられた先行隊は七月二十一日に現在のソルトレーク市の地点に達し、そこでキャンプを張つていたのであつた。三日後の七月二十四日ブリガム・ヤングも遅れてこの広く開けた谷間に到達したのであつた。彼はロッキー山脈の中にある大草原を見下して予言するかのようになつた。「これでよし。正にこの土地である。」と宣言し、この土地を約束の地として献納したのである。このようにしてモルモンの最初の一隊がこのソルトレーク盆地に到達したことは、実に偉業であるが、その後彼らがこの不毛の地に於いてなしたことは冬の旅の苦しみにも増して大きな困難があつた。

一八四七年七月二十四日の到着の日から一八四九年の夏までの間は開拓者と裏切者との戦いがつづいた。それは言い換えれば空腹と貧困と病気との戦いであつたと云つてよい。最初の冬は作物の作付が遅れて収穫も少く、家屋の建築も進んでいなかったのにつらかつた。山の中にある木材や燃料となる木もとるのがむずかしく、閣採や運搬に大変な時間を要した。



一九四八年の秋にはおよそ六千人の聖徒が盆地に住むようになった。多くの新しい移住者を迎えて食糧難は再び深刻になった。その上更に悪いことにはイナゴやコオロギの大発生によって、その年の収穫はほとんどなくなってしまった。ただ一部分がカモメの全く奇跡的な飛来によって害虫が駆除されてとり残されたにすぎなかった。このような災難に遭いながらも、聖徒たちはブリガムヤング始めその他の教会の指導者が予言したり元気づけたりすることによって一八四九年の春の収穫に望みをかけて働き甲斐を感じていた。

やがて一年の血のにじむような努力の成果を待つ春が来て収穫が豊かであることが分ると、聖徒たちがその盆地に到着したことを祝う事が決定された。彼らはでき得る限りの食糧を集め飾り、二年間の試練と苦しみと困難を乗り越えて一九四九年の七月二十四日に感激と喜びのうちに始めてこの「開拓者記念日」を祝うことができたのであった。

私たちは毎年七月二十四日のこの開拓者記念日を祝います。それは信仰を守り抜くために美しく住み良い町を追われ、他の誰れも試みようとしなかった荒野の地に人も驚くばかりの高い文明を築き上げた開拓者たちのもつ、先見の明と勇氣と決心を深くたたえるためである。私たちは彼らの神に対する不動の信仰と困難と災難にあつて失うことのなかった謙

遜な心を讃えるのである。私たちは彼らが神の真の教会と王国を再びしっかりとこの地上にうち建てたことを讃えるのである。この開拓者たちもいつしかときが去るにつれて私たちから遠のいてはいるが、彼らはその精神においていつも私たちの近くにある。開拓者たちが何をなしたかを知ることによって、私たちも教会をあきらめたり教義の原則を守らなかつたりしないで、何か貢献することが出来ること云うことを知る必要がある。彼らの示した模範によって、今日私たちの生活する世界には何処も征服するような新しい荒地はなくても、開拓者と同じ精神を社会、教育、政治、芸術等のあらゆる分野に於いて揮撒することが出来るのである。

彼らの示した模範に従えば、確かに彼らのものとは質的に異ってはいいても現代生活の中に入り混んでいる失望、誘惑、苦悩を克服することが出来るのである。開拓者とは決して単に時代やときによって過去にうもれるものではない。誰れでも真に価値のある人格を築こうと心掛けるものは、最も身近な例として、ある意味の開拓者であると云える。特に末日聖徒として大切なことは、我々全てが何かに貢献しようとする気持、信仰、エネルギー、物事に対する興味、向上心と神への愛、さらに現代に於ける真の開拓者魂をうけついで神の子であるという気持を持つことである。

子供日曜学校のレッスンガイドもこれで二回目になりました。「家庭を良くおさめる者は国をも良くおさめる」ということわざがありますが、今月号では私たちの身近な所をふり返り黒板を取り上げて見ました。子供日曜学校の場合クラスを生かすも、だめにするのも教師の一人一人の肩にかかって来るといえるでしょう。幼い子供たちの導き手として正しい判断とゆるぎない信仰のもとに今日も神の子等と讃美し学ぶ事が出来る事を祈ります。

黒板の使い方

黒板はおそらく日本中のどこにでも普及している教材でしょう。私達は小さい時から親しみ、大切なこと、たのしいことを覚え勉強してきました。しかし日曜学校になりますとあるのほとんど利用していないクラスなどが見受けられます。残念なことにそういう方の多くは、何か良い教材らしいものが自分の支部にあったらと考えておられます。それはちやうど高価な宝をさがしていながらころがっている寶石をただの石のように見逃しているのに似ているように思います。ただ一枚の黒い板と一本のチョークがどんなに記憶のため理解練習のために役立つかわかりません。一本といわづに二三本の色チョークでも加えるならりっぱな教材になります。

黒板の利点

黒板は既製の絵や、紙芝居を用いるのところが教師がその場で描き出してゆくものですから、いちばん興味と変化にとんでいること、また、すぐ消して次の目的のために使えるので活動の場が広いこと、技術的な準備や設備が簡易であることの利点と特徴をもっています。これらを利用して大胆に使用してみると、思いがけない活気のあるクラスとなり子供達の生活にも夢と力をそえるでしょう。

利用について

- (一) その安息日の月日を書いておく
 こんな小さなことですが、一つの変化であり話題であります。
- (二) 暗誦聖句の練習
 子供の日曜学校でも覚えやすい聖句を暗誦させるのは如何でしょうか。それにはクラスの前に書いておき部屋に入る生徒がすぐ読める様にしておくとの時間的にもずいぶん能率的です。色チョークによって効果的にして下さい。
- (三) 教理を教える
 図解は理解に早いので黒板はこのために最も良い教材と思います。

物語りを教える

黒板の使い方でもし困難をおぼえらしたらこの方法でしよう。しかし中でもこれが一番おもしろ味があり、物のイメ

ージに従って大胆に描く自由さを發揮して下さい。芸術としての絵ではありませんが、絵の上手下手にとらわれず話の動きを中心に進めて行くことです。十分表現出来なくてときにはひょうきんなかっこうであっても子供はゆるしてくれまじし、動きや表情を十分想像し受け取ってくれます。自由に画くといっても、話の部分、絵の部分位置、大きさの大体の構想をもっていること、自分の力に応じて練習しておくことは必要です。また、地図などを画いて話を進めると子供達の創造力を養うのに役立つでしょう。

子供に書かせる

教師が結果にとらわれず勇氣をもって書くことにより子供たちは自分も書けるまた書いてみたいという意欲が湧いてきます。海と陸の基本線だけ書いたところえ創造の順に従って一人一人が書き込んでゆくなど楽しいレッスンで。そのとき子供は相対的な物の大きさや概念的な形にとらわれず、自分の印象によってまた性格によって思い思いに書きますから、大人の目で見たり笑ったりせず一つ一つの線形を尊重してやらなければなりません。以上あげたのはけっして個々にだけ使うものではなくクラスの時間内で必要な組合せる自由にして下さい。

第五課

天のお父様はすべての人に家を与えて下さいました。この課における視覚教材

はフランネルボードを使わずに黒板で一つ一つ子供達に描かせるのも面白いでしょう。その際色チョークを用意したいものです。

第六課

お父さんとお母さんは私を愛しています。両親の子に対する愛から話を進め両親と同じように、神様も私達を愛して下さることを認識させて下さい。この課だけではなく第12課ころまでの間に子供達に本当の愛について教え全てのものに対して愛を持つことがいかに大切かを学ばせて下さい。活動として母の日にそなえてカーネーション造りをするのも良いでしょう。

第七課

私はお父さんとお母さんを愛します。活動として両親にあてて感謝の手紙を書かせるのも良いでしょう。また子供達は時々母の絵は書くことがあっても父の絵を書く機会は本当に少ないのではないでしょう。両親そろった絵を書かせ手紙を添えて、両親にあててださせましょう。

第八課

私は兄弟姉妹を愛します。インストラクターやエラによく兄妹そろって助け合っている絵がでていますので、それらを利用して下さい。両親に対する愛は、案外深く理解すると思いますが、兄弟姉妹に対する愛を教えるのは少しむづかしいように思われます。特に年令が接近している兄弟姉妹の場合は両親の独占欲又他

のものに対する、独占欲が強いので「目的」の欄の二、三番目に重点を置いて十分に教えて下さい。

靈的生活

教義と聖約

一九六六年—六七年の
レッスンの予告編

ロイ・W・ダクシイ長老

今年度私たちが勉強する啓示からは次の事柄を学ぶ。一八三三年の夏の間と一八三四年の冬にかけて聖徒に対する迫害がミズリー州のジャクソン郡で始まり、聖徒は遂にその州の他の郡に追い出されるまでになった。

教会の会員に対して憎悪が示されたにもかかわらず、会員たちは正しい法律上の手段を用いて彼らの土地を取り返すことが出来るよう協議した。聖徒たちは人はその敵を許すべきであるという救主の啓示をうけてその教えによってこの問題について再検討した。

一八三三年七月、迫害が始まる前に主は多くの偉大な福音の真理を含む啓示を与えられた。今年度勉強する最初の啓示は一八三三年の五月に与えられた九三章である。この啓示は人が何

を礼拝すべきかを知るために必要であり、そして正しく礼拝するための重要な真理を含んでいる。九三章にでている黙示者ヨハネのキリストに対する証は救い主の神性を人々に確信させるために充分な情報を提供している。この最初のレッスンで勉強するヨハネの証の要約は私たちの長兄は真に神の子であるということを人々に認めさせる助けとなっている。

この同じ啓示の中で末日聖徒の婦人は救主と永遠の父の自分に対する真の關係を知ることが出来る知識を与えられた。人が前世に存在したという知識は私たちがこの世に存在し、この世の生活を体験することの目的や、また生活環境から起こる多くの問題に解答を与えてくれる。教会の婦人にとって人はこの世に生れたときは罪を持っていなかったということを理解すると共に、自分がこの世に生れる以前に存在し、また前世から現在へと特性をもってきたということを知ることは極めて重大な利益であり、彼女の生涯の指針として役立つ知識を供給するものである。一つのレッスンは迫害、苦難、その他の人生の苦

しみを受けているときに教会の会員を耐えさせたこの問題の多くの面について熟考している。

来日聖徒の婦人は九三章で光と真理をどのようにして自分自身の生活の一部にとり入れることが出来るかを知る重要さを理解する力が与えられる。この知識の中で一つの重要な部分は、それによって彼女が真理と誤りとを区別することが出来るその基準である。

教会の会員はアメリカ合衆国の憲法が、神の靈感された文書であり、その下で福音が回復されることが出来る政府がたてられたことを知っている。今年度のレッスンの一つは人々に彼らの自由意志を行使する機会を与える政府の起源とその主要な事柄を説明している。

一人の女の人が福音をうけ入れて、バプタスマを受けた後、或いはその時に彼女は福音の真の重要性を認めて救いの計画に述べられている目標に一番よく達するにはどうしたらよいか考え始める。今年度のレッスンの中には人が主イエス・キリストの弟子になることが出来る原則のいくつかが列挙されている。

末日聖徒の興味をそそる問題

は主の福千年の統治である。確かに福千年におこる主の再臨の切迫と福千年にゆきわたる平和で幸福な状態はすべての末日聖徒の婦人の熱心な願いである。そしてこの福千年に対して信仰を持って待ち望む来日聖徒の婦人の心は希望にみち、励ましと理解力が与えられる。

聖徒はシオンの中心地から追われ、仕打ちを受けたにもかかわらず、今日私たちが知っているように彼らに対して神の御業が必ず勝利を得るという保証が与えられた。今年度の結びのレッスンでは余り知られていないがジョセフ・スミスによってなされた偉大な予言の一つについて、討議させることになっている。

一九六六年から一九六七年にかけて教えらるる靈的生活のレッスンのシリーズには次のような題と目的が与えられた。

七三課—イエスについてのヨハ

ネの証(教義と聖約九

三・一—二〇)

北半球—一九六六年一〇月

南半球—一九六七年三月

目的—末日聖徒の婦人はイエス・キリストを贖主として知ることの必要を認めているこ

と。

七四課―前世の生活(教義と聖

約九三・二二―二三、二

七―二九、三三―三四)

北半球…一九六六年一月

南半球…一九六七年四月

目的…末日聖徒の婦人は現世の

目的を理解しているから日々

の生活のために更に力がつけ

加えられ、与えられること。

七五課―光と真理(教義と聖約

九三・二四―二六、三

〇―五三)

北半球…一九六六年一月

南半球…一九六七年五月

目的…末日聖徒の婦人は啓示さ

れた真理に一致した生活を形

作ること。

七六課―迫害の最中に於ける行

動の仕方(教義と聖約

九七、九八・二三―四

八)

北半球…一九六七年一月

南半球…一九六七年七月

目的…末日聖徒の婦人は理解と

許しの精神で迫害によく耐え

ること。

七七課―神に靈感された文書は

福音を回復するための

道を備えている。(教

義と聖約九八・一一二

二、一〇一・七六―八

二、一〇一・七六―八

〇)

北半球…一九六七年二月

南半球…一九六七年七月

目的…末日聖徒の婦人はアメリ

カ合衆国の憲法の設定に於け

る主の目的を理解すること。

七九課―福音(教義と聖約一

〇一・二三―四二)

北半球…一九六七年四月

南半球…一九六七年九月

目的…末日聖徒の婦人は福音千

年の統治の期間に参加するよう

個人的準備をすること。

八〇課―神の御業の終局の勝利

(教義と聖約一〇一・

四三―七五、一〇三)

北半球…一九六七年五月

南半球…一九六七年一〇月

目的…末日聖徒の婦人は従順と

勤勉により神の御業の終局の

勝利にあづかるよう努めるこ

と。

社 会

家庭で福音を教える

一九六六―六七年度

レッスンの予告

アルバータ・H・

クリステンセン

毎月の第三週に行われる扶助

協会のレッスンは以後「社会」

と呼びます。題が示すようにレ

ッソンは家庭での人間関係につ

いてですが、それを教会内や社

会生活にまで発展させていきま

す。「家庭で福音を教える事」

と題されたこれら扶助協会レッ

ソンの重要な目標は今までも、

またこれからもそうでありま

すが、これの人間関係の改良で

す。

メルケゼデク神権者用のレッ

ソンの多くは人間関係をより良

くするという方向にむけられて

きました。しかもそれらのレッ

スン中、多くは夫婦関係に特別

な重きがおかれてきました。父

親が妻や子供の望み、抱負、精

神的に必要としているものを理

解するのを助ける為に、レッス

ン中に多くの提案がなされてき

ました。

社会のレッスンは現在メルケ

ゼデク神権者が学んでいるレッ

スンに関連させていきます。即

ち、神権会レッスンのテーマに

関連のある女性の立場を提示し

ます。目的はあくまで討論や実

行によって、末日聖徒の家庭に

より豊かな生活をもたらす協力

と理解です。愛や理解は家族全

員の生活を豊かにするばかりで

なく、すべての人間関係に好意

的要素を注入するものです。他

人に対する理解や親切心は今日

の緊迫した、懐疑的な、疑惑に

満ちた世の中には最も必要とさ

れているものです。

第六課(シリーズの一八課)

は「すべてが学べるように」と

題されています。私たちは「神

の王国に関する教義」を互に教

えあうように特に勧告されてい

ます。言葉や模範の力というも

のは、学ぶ課程において非常に

重要でありますので教え方にも

いろいろあります。末日聖徒

の女性がこの神からの勧告を受

け入れて達成する場合の役割を

どのように果たすか、その方法を

知るといのがこのレッスンの

中心テーマであり、その方法を

利用するようにすすめるのがレ

ッソンの目的です。

以上が神権会レッスンと相互

関係にある扶助協会レッスンの

目的ですが、特に第七課「微妙

な一線」中には妻が夫と満足な

そして価値ある関係を作り、他

の人との関係にも敏感な心づか

いをするとき平等な責任を夫と

わかちあうことが強調されてい

ます。



柳田征史 久美子 66年10月8日結婚

女性の持つて生れた感受性は

それが熟知できるものであろうとなかろうと、一層大切な愛と理解という賜物を感謝の気持ちで受け入れるのです。この問題に関連した聖句として次のように書かれています。「およそ、人賜物を与らるるにこれを受けずば何の益あらんや。見よ、彼は贈られたるものを喜ばず、また贈りし人をも喜ばざるなり。」

「徳から徳へ」は一九六六年度最後のレッスン第八課の題です。このレッスンは徳から徳へと霊的に進歩する事によって完全へと到達する事を指摘しています。私たちの信仰が深まるにつれて霊の事柄に一層敏感になり、私たちがより霊的になるにつれて私たちの信仰は人生において私たちを導いてくれる力として、積極的になり強められます。

一九六七年のメルケゼデク神権者用のレッスン「地上に天に」は家族や教会、社会における神権保持者の立場に関連させて、律法の種々なる面に関しての内容です。一九六六・六七年の扶助協会社会コースの残りの五つのレッスンは以上に提示された研究課程に従っていきま

す。

私たちの考えを高める方法やクラスのメンバーが参加して意見をのべる。例えば、聖句の引用、話し合い、よく意味のわかる質問、社会劇、又は良い刺激を与えるような言葉や実例等を用いる事ができます。

もしクラスリーダーが独創的であり、これらの現実的な実例を賢明に使用するならば、クラス的时间里に変化と興味を加えることができ、クラスの各メンバーが参加する事によって私達に共通な問題を一緒に解決できるようにになります。実際の問題を研究する場合には、単なる事柄の叙述ではわからないような色々な面がみられるので問題の芯まで深く切りこむ態度を持ってよいでしょう。このようにクラスメンバーは話題に上っている問題に類似している自分自身の状態をもっと容易に、又理知的に評価するよう教えられる訳です。

第六課「すべての人が学べるように」

目的…末日聖徒の姉妹達が神の王国についての事柄を互に教えあうとき、各々の役割を果たすよう刺激する。

一九六六年一〇月第三週
第七課「微妙な一線」

目的…妻が夫と満足なそして価値ある関係を作り、他の人との関係にも敏感な心ずかいをするとき夫と平等な責任をわ

一九六六年十一月第三週
第八課「徳から徳へ」

目的…徳から徳へと霊的に進歩することによって完全へと到達することを指摘する。

ホーム

メーカーキング

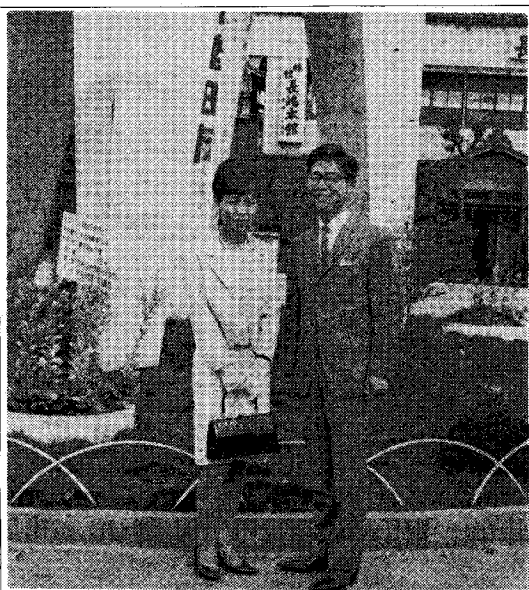
着ることに衣服の手入れを加える

一九六六年八月第二週

目標 系統だった良い手入れによって衣生活の向上を示すこと。

序文

家族の一人一人にいろいろな活動にふさわしい清潔な衣服を提供できるとき、主婦がよろこびを感じるところの安寧とみちたりた気持は努めて求めるに価値あるものです。しかし不幸に



児玉栄治 玲子 66年10月6日結婚

も私たちの多くはその到達点に達しません。もっと多くの衣服が必要なのだというあやまった考えで、私たちはいつも洋服だんすをいっぱいにしたいと望みがちです。そして、そのために問題をむづかしくしているのです。衣服が多すぎることは、あまり使わないものの扱い、手入れ、保存のため、全体からみて不当に時間や、お金や労力の犠牲をとることになります。衣服計画でその一つ一つのかしこい選択が衣服の手入れの最切の段階となります。しかしこのレッスンの目的として、衣生活を発

展させる実際のな、手入れのテクニックを扱います。

衣服の手入れに当たって必要なのは、系統的な一定した手順上手なテクニック、そして衣服の手入れに必要な要素の基礎的な理解です。衣類その他を洗濯しアイロンかけをしても、線をステッチしなおしたり、ひもをつけないおさねば着ることのできないようなものは私たちが衣類を所有してないことと同様でしょう。衣服は着ることのできる状態にある時にのみ有用なのです。母親は自分ですべての仕事を行って、家族が仕事をわけ

もち学ぶ機会をとりあげてはいけません。子供たちは自身で責任をもつ時に、それが自分のものだという認識を強くするので

洗濯

使われる器具はなんであって、最も効果的な洗濯の手順は次の要素の上にならちます。

一、ひどいしみやよごれは前もってとる。二、衣類を色、よごれ、繊維でよりわけ。濃い色と薄い色はわけて洗う。ひどい汚れのものを軽い汚れのといっしよに洗わない。白い合成繊維は決して色物といっしよに洗ってはいけない。三、熱いお湯では衣服にしみこんでしまう汚れを軽くしたし、流しとるために汚れた衣類を十分から十五分間冷水に浸す。浸している時間をより有効にするために、洗剤を加えてもよい。量を計って塩素ブリーチを行うのも、汚れや、しみや細菌をとりのぞくのによい。ブリーチしすぎないように気をつけねばならない。四、適当な量の洗剤を加えた熱めのお湯（軟水または薬品で軟化して）で洗う。長すぎる洗濯は繊維をだめにし、また、短かすぎると汚れがよくおちない。洗剤

が多すぎたり少なすぎたりするのも同様に、効果をなくする。

五、洗剤やブリーチ、汚れの残りをすべて洗い流すため、徹底的にすすぐ、ごくたまに繊維ソフトナーを使う、張りが必要な衣類やなめらかになったり、こわばった方が汚れのつきにくい衣類はのりづけをする。

六、乾燥しすぎると繊維をだめにするので、その点をよく考えて日光や乾燥機でほどよい状態になるまでかわかす。色物や、ナイロン、絹、ウールなどは弱くなるので直接の太陽光線では干さない方がよい。色を鮮明にしたり、白いものを白く保つため、市販されている洗剤多くに含まれている蛍光剤もまた、太陽光線にあたると弱くなり、効果がなくなる。しかしながら、太陽光線はブリーチと衛生的効果をもっている。木綿は太陽でかわかすと新鮮な太陽の匂いで快よい。熱に敏感な繊維やウォッシュアンド、ウェアの木綿は高温と乾燥のしすぎによって、永久的にしわが出来る。表についている適当な扱い方を表示するラベルをよみなさい。凍らせることは木綿をブリーチするが、凍った繊維は取り

扱いによって簡単にだめになる。煮沸もまたブリーチになるが繊維を弱め、高温はブリーチや強い洗剤を早くだめにする。アイロンかけ

よいアイロンかけに必要なことは

一、平均にしめらせてそのあとに一二時間以内にアイロンをかける。カビはあたたかい温度でよく生じ、においや色がとれても、カビによる害は永久的に残る。二、繊維及び繊維加工にある温度でかけると、色が漂白されても熱による色あせは永久の損傷である。三、一番やりやすい高さの台で厚く、きれいでなめらかなアイロン台を使用する。その表面が汚れていると熱のための色あせやよごれをきれいな繊維にしみつかせてしまう。四、アイロン使用の技術、繊維の性質によって、アイロンをかけ、最初に厚い部分の裏側をかけるとよい。五、アイロンかけを終えた衣服のたたみ方、かけ方に気をつける。

プレスする

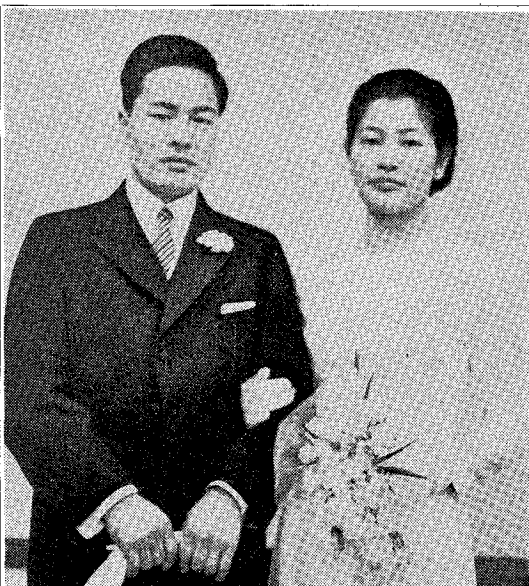
上手にプレスするために
一、色や繊維をだめにしてしまいう糸くずや、ごみなどはブラッシングして完全におとす。二、

正しいプレス布を選ぶうすい繊維のためには、ティッシュペーパーがよく、ウールやウーステッドには毛織物やキャンパスがよい。いつも同じ側を下にして使う。三、多すぎない程度にしめりを含んだスポンジで一様にしめりけを与える。四、アイロンの温度を繊維に調節する。五、プレスする、アイロンをかけるのではない。スチームだけでも、かけたあとのブラッシングや手でおしたりしてとれるような、しわはたいいてゆるめられる。六、袖や肩などのような変った部分はタオルをまるめた

り、プレスクッションやスリーボードで形づける。

しみぬき

ある汚れはすぐにとりのぞかないと繊維にしみついてとれなくなりす。一般に家庭で扱うことのできる繊維は洗い、ドライクリーニングしなければならぬ繊維はクリーニング店で洗ってもらうのが一番ですが例外もあります。きれいな冷水につけてもしみのとれない洗たくのきかない繊維であるならばとうとしない方がよいでしょう。衣類は汚れすぎない前にきれいにしなければなりません。よご



横山正 郁子 67年3月21日結婚

れをとるために洗う人にとんなものであってもなんのためにし
みになったか、どうしたのかを
いいなさい。ついたばかりの血
卵、肉、ケチャップ、インキの
ようなしみづいた衣類は冷水で
洗いなさい。あか、草、タール
化粧品、油、油っぽい食物、汗
などでできたしみには洗剤をす
りこみます。それから冷水です
すいで下さい。ガムやろうそく
のろうは水でかたくして、繊維
からとりまです。フルーツシュー
スのしみは沸騰したお湯を、大
体ひじの高さのところからそこ
へそいで、とりのぞきます。

草やボールペンのインキはアル
コールにひたせばおのずから消
えますが、同時に色をだめにする時
もありまです。家庭用に参考となる
公報としてUS農業部会報、繊維
から汚れやしみをとりのぞく
く。があります。(あなた自身
の国における、参考となる会報
などをしらべて下さい)

貯蔵

季節の衣類は使わない時に、
ほこり、カビ、強い光線、虫な
どから守るためにしまわなけれ
ばなりません。衣類やカーペッ
トビートルズがウール、絹、毛
羽毛を食い荒します。杉の箱や

ナフタリンはいくらも役立ちま
すが、一番よい保存は完全によ
ごれをおとしブラッシングをし
密封してしまふことです。銀魚
(しみ)はレーヨンや他のセル
ロース繊維をたべます。これら
の虫は、しめったさけめに繁殖
して、時々くん蒸(消毒)をし
てその破壊から家を守らなけれ
ばありません。ほこりは色をだ
めにし、繊維を弱めます。衣類
をほこりがたまらないところへ
しまいなさい。

実行と考察

ここで述べた技術は、クラス
でも実際に見せることができま
す。たとえば、適当な材料
を洗濯する。アイロンかけの手
順を正す。婦人用、紳士用のス
ーツをプレスする。いろいろな
繊維のしみぬきをする。しまひ
方を練習する。新しく出た。ウ
ォッシュ・アンド・ウェア繊維
の取り扱いのデモンストレーシ
ョンもよいでしょう。

ホーム メーカーキング

ホームメーカーキング教 育を通しての発達

一九六六、六七年ホー
ムメーカーキングレッス
ンの予告

セレスティア・J・テイラー

一九六六、六七年のレッス
ンは、ホームメーカーキング教育を通
じての発達。のコースの続きで
す。このコースの目的は姉妹た
ちがホームメーカーキング(家事)
の技術を身につけられるように
して励まし、手伝うことです。
末日聖徒の婦人が家庭を美しく
する助けとなるため、また、ホ
ームメーカーキング術においてすぐ
れていたという望みを増すため
に、ホームメーカーキングの分野の
多くのテクニクがのべられ、
教示されるよう期待します。一
九六六年一〇月、十一月、一二
月のレッスンはヘーゼル、エス
キャンンによって書かれました
が、一九六七年一月からは扶助
協会幹部役員の一入であるセレ
スティア・J・テイラーによつ
て始められます。

精神の内にもまた、存在するの
です。だらしない、かまわれ
ない家が意気沮喪と、争いの気
持さえよぶものである一方、そ
の内に簡単な秩序のルールと清
潔さがただよっている家庭は、
住む人に安寧の感じと、所有の
誇りを与え、見る人には賞美と
敬意の感情を与えます。
仕事が終わって、秩序がゆきわ
たっている家に帰る夫は、心に
若返りと元気を新たにします。
無秩序と混乱した家に帰る夫は
労働からの休息も慰安も見いだ
せません。同じことが子供に及
ぼす影響にも言えます。生活の
すべての分野——政治的、社会的、
教育的、そして宗教的——におけ
る衝突するイデオロギーの時代
に、安定の源として、家庭が強
調されつつあることを知るのは
慰めです。

政治家には雄弁を、改革運動
者には主義を、軍人には武器を
与えなさい。そうすれば世界は
いまだに騒乱のうちにいること
ができます。しかし、婦人には
雑布と立派な強いほうきを与え
なさい。そうすれば、彼女は騒
乱から世界をきれいに掃きさよ
めることができます。

これは、国家の最強の防備はそ
のそれぞれの家庭である。とい
うことのとえです。家庭に秩
序がある時、個人個人に規律が
あります。そして、個人個人に
規律がある時、国家に秩序が、
保全が、団結があるのです。聖
句は私たちは家を秩序あらしめ
るべきだと教えています。家族
を保護すると同じように、神の
命令として私たちの家庭を秩序
正しく平和のうちに保つことは
最も重要なことです。それは、
この偉大な全世界にわたるホー
ムメーカーキングという仕事にたづ
さわる私たちすべての者として
絶対に欠くべからざる問題なの
です。ヨーロッパの国々に住ん
でいようと、海の島々に住んで
いようと、アメリカに、またこ
のすばらしい私たちの世界のど
こに住んでいようと、末日聖
徒の婦人たちはすべて、この同
じゴールに向って働いています
——現在、永遠にわたって、平
和と幸福へと導く秩序ある家庭
——一九六七年一月から一〇月
ホームメーカーキングのレッスンの
目的は、私たちが家庭の、結局
は私たちの生活の、秩序をつく
りだして、保つてゆくのに助け
となる技術や手順の実際的な指
導することです。

ヘーゼル・S・キャノンによる
レッスンのタイトルと目標は
次の通りです。

レッスン一〇—あなたの食事に
新鮮な輝きを与えましょう。

北半球…一九六六年一〇月第
二週

南半球…一九六七年三月

目標…どのようにして主婦が
栄養あるおいしい家族の食
事を計画し、準備し供する
ことができるかを示す。

レッスン一一—家族を歓迎しま
しょう。

北半球…一九六六年一一

南半球…一九六七年四月

目標…よりよいもてなしをす
ることによって主婦と家族
が得ることのできるよろこ
びを話し歓迎における食物
のルールを示す。

レッスン一二—幸福な家庭はこ
の世における天国です。

北半球…一九六六年一二月

南半球…一九六七年五月

目標…主婦と家族がホームメ
ーキング教育を通していか
に益せられるかを概括して
述べ、過去一年の目標をも
う一度復習強調する。

セレスティア・J・ティラー

によるレッスンのタイトルと目

標は次のとおりです。

レッスン一三—かしこい使い方
はしあわせな結果をもたらし
ます。

北半球…一九六七年一月

南半球…一九六七年六月

目標…予算が如何に財政上の
問題を解決する助けとなる
目標を設定するかを示す。

レッスン一四—若い夫婦と隠退
した夫婦のための予算。

北半球…一九六七年二月

南半球…一九六七年七月

目標…かしこい財政計画はす
べての年令層、すべての環
境において役立つことを示
す。

レッスン一五—働いて得られる
以上の望みをもつてはなませ
ん。

北半球…一九六七年三月

南半球…一九六七年八月

目標…クレジットを上手に利
用することは家族の収入を
資することにもなるが、多
すぎると家族の幸福に対す
る危険なかけとなりうるこ
とを述べることを。

レッスン一六—記録をつけるこ
と

北半球…一九六七年四月

南半球…一九六七年九月

目標…家庭経営の記録をつけ
ることの大切さを示す
レッスン一七—節約を計画しな
さい。

北半球…一九六七年五月

南半球…一九六七年十月

目標…注意深い計画と上手な
買い物を通して、家族は限
られた予算で美しく着るこ
とができるということを示
す。

夏休み

縫物のコース

北半球…一九六七年六、七、
八、九月

南半球…一九六七年一一、一
二、一九六八年一、二月

目標…裁縫技術の教授

新しいレッスンの 著者紹介

アリス・コルトン・

スミス

ユタ州ローガン出身。一九六
六年十月に始まる訪問教師メッ
セージ「教義と聖約から生活に
取り入れるべき真理」の著者
で、一九六四年以来、扶助協会
中央管理会のメンバーであり、
霊的生活、及び外国向出版委員

会に働く。父はユタ州選出の前
下院議員ドン・B・コルトン、
母はグレース・ストリンガム・
コルトン、夫はJ・ホイットニ
ー・スミス、長男フィリップは
スタンフォード大学在学中、長
女キャロリン・C・ムーディは
ローガン在住、二女アンネット
・C・スミスは死亡。

スミス姉妹は、ユタ州立大学
から社会学の修士号を受け、現
在同学科の助教授をつとめてい
る。又ユタ大学、コロンビア大
学、及び、ジョージ・ワシント
ン大学に学んだ事もある。兄弟
がイスラエル駐在のアメリカ大
使館員であった間、スミス姉妹
は大使館内の米、イスラエル関
係委員会の委員長を務めた。一
九五八・六〇年にかけて、ユタ
州教科書及びカリキュラム委員
会のメンバーでもあった。

扶助協会活動においては、ス
ミス姉妹は文学及び社会科学の
リーダーとして活躍、又支部の
会長を歴任、又兄弟がオースト
リア伝道部長であった時、同伝
道部の扶助協会会長として活躍し
た。

セレスティア・J・
ティラー

一九六七年一月から始まるホ
ームメーカーングレッスン「ホー
ムメーカーング教育による発達」
の著者であり、一九六二年以
来扶助協会中央管理会のメンバ
ー。社会科学及び文学委員会に
いたこともあり、扶助協会年次
大会の分科会で使用するため
の台本を書いたこともある。扶
助協会雑誌に発表された詩があ
り、また一九六六年五月号に掲
載された彼女の記事「三人の
女」にはティラー姉妹の祖父母
がユタ州ユタ郡に移住した時の
勇氣と信仰が詳細に描かれてい
る。美しい山村に生れ、ブリガ
ム・ヤング大学から英文学士及
び修士号を受け、同大学で教鞭
をとっている。

美しい声の持主であるティラ
ー姉妹はフローレンス・J・マ
ドセン女史のもとで声学を学ん
だ。プロボの商人であるリン・
D・ティラー氏の妻で五人の子
供の母親。英国で伝道中の息子
以外は全部結婚している。ステ
ーキ部文学クラスのリーダーと
して、またワード部扶助協会々
長として働いたことがある。プ
ロボの東の丘の上にある彼女の
美しい家には家族や友人達の親
切や暖い歓迎が満ちあふれてい
る。

聖徒の道は

私たちが真理を知る「てだて」であり

私たちの心と心がかよう道です

あなたの霊の進歩のために

あなたの信仰のかてのために

お役に立つ本であればと思います

聖徒の道

一九六七年五月一日発行

振替口座 東京一六二二六番

発行人兼編集人 アドニー・Y・小松

発行所

東京都港区南麻布五丁目八番十
末日聖徒イエス・キリスト教会

電話 四七三一・一六一三

印刷所 株式会社三五堂

定価七十円

一年予約七〇〇円(申込は支部長まで)

支部所在地

北海道地方部

旭 川 旭川市8条5丁目
MIA集会所 旭川公会堂
電話 (0166—2—1545)
室 蘭 室蘭市幸町 89
電話 (0143—2—7054)
小 樽 小樽市富岡町1ノ35
電話 (0134—2—7054)
札幌 札幌市南20条西 16丁目
電話 (0122—56—7175)

東中央地方部

群 馬 高崎市並榎町 275
電話 (0272—2—7121)
甲 府 甲府市中央3丁目 12—2
電話 (0552—3—2409)
松 本 松本市開智1ノ1ノ6
新 潟 新潟市中大畑町 557
電話 (0252—22—8660)
仙 台 仙台市光禅寺通り 28
電話 (0222—25—0897)
東京中央 東京都港区青山北町 6ノ34
電話 (03—408—3307)
東京北 東京都中野区江原町 1ノ8ノ14
電話 (03—953—8244)
東京東 東京都江戸川区西小岩 5ノ8ノ6
電話 (03—657—9460)
東京南 東京都大田区南千束町 2—25—11
電話 (03—729—6311)
東京西 東京都武蔵野市吉祥寺東町 1ノ7ノ7
電話 (0422—22—6764)
山 形 山形市七日町 4丁目 12ノ23
電話 (02362—3—3380)
横 浜 横浜市港北区篠原町 29
電話 (045—40—8772)

西中央地方部

阿 倍 野 大阪市阿倍野区阪南町中 1—11—8
電話 (06—623—4315)
福 岡 福岡市浄水町 46
電話 (092—52—8653)
広 島 広島市古田町古江 400ノ3
電話 (0822—71—5309)
金 沢 金沢市兼六元町 3ノ8
電話 (0762—21—2131)
京 都 京都市左京区下鴨松原町 44
名古屋 名古屋市昭和区北山町 3ノ41
電話 (052—73—4210)
西ノ宮 兵庫県西ノ宮市仁川町 4ノ54
電話 (0798—51—0141)
岡 町 大阪府豊中市岡町北 2ノ18
電話 (068—52—1236)
岡 山 岡山市学南町 1ノ13ノ11
電話 (0862—52—3560)
三ノ宮 神戸市灘区篠原本町 4ノ35
電話 (078—86—2602)
柳 井 山口市柳井市今市 391

沖縄地方部

普 天 間 沖縄宜野湾市野嵩区 328
那 覇 沖縄那覇市崇元寺町 1—128—20
電話 (3—1620)

建築部事務所

東京都港区青山北町 6ノ34
電話 (402—4010)

(誤りのある支部の支部長はご一報ください)

Ref.